## SMBCグループ リテール事業部門

# お客さま本位の業務運営に関する取組方針

SMBCグループ リテール事業部門(※1)は、個人のお客さま向けの資産運用、資産形成コンサルティング業務に販売会社として取り組むに当たり、SMBCグループの「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づき、お客さま本位の業務運営に取り組んでおります。

具体的な取組方針(以下、「取組方針」)は下表の通りで、その詳細と具体的な取組状況は後述の通りです。

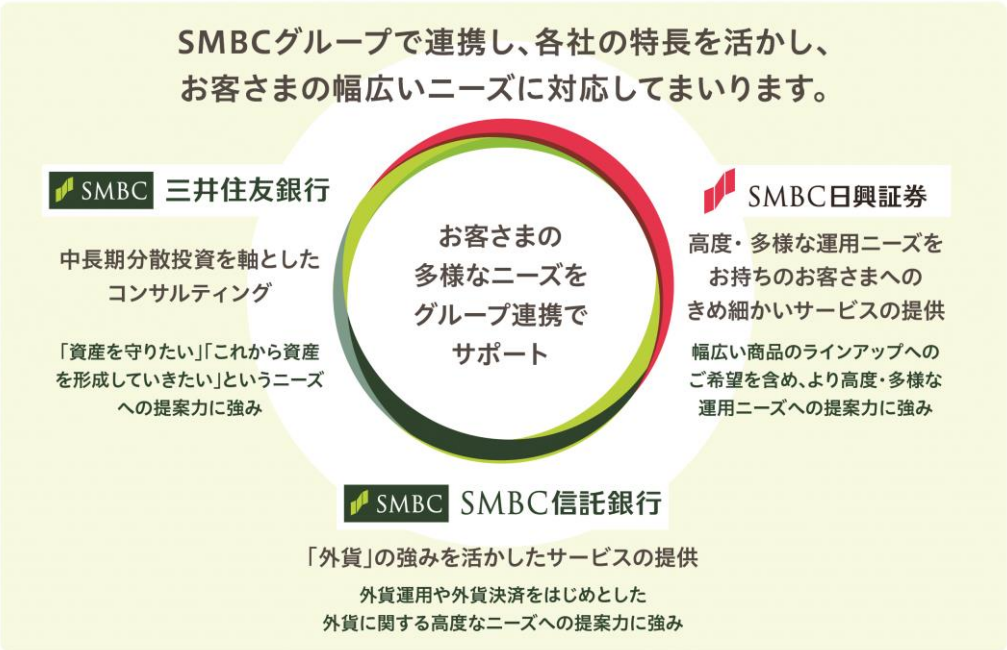
Integrity(※2)を大前提にコンプライアンス・お客さま本位を徹底するために、リテール事業部門では、「Integrity for Customer」を掲げております。

そのため、計数指標を「Integrity Indicator」という名称とし、お客さま本位の活動に資する指標として、PDCAサイクルの中で、状況を確認、分析、お客さまへの対応や業務運営の高度化を図っております。

以上の取組みを通じ、「お客さまにとっての最善の利益」を実現するために、真のニーズに合致している商品・サービスを提供することを目指し、お客さまをよく知り、お客さまがご納得された上で商品・サービスを選択できるよう、一人ひとりに合ったソリューションを提供します。
お客さまの豊かな生活や安心感の実現に向けて、お客さまの目指す利益のために、お客さま本位の業績評価体系や適切な商品の導入・選定に注力してまいります。

また、引き続き、具体的な取組状況を定期的に公表し、状況に応じ、取組方針の見直しを行ってまいります。

| 取組方針 | |
|---|---|
| | 1 中長期分散投資を軸としたお客さま本位の運用提案 |
| | 2 お客さま本位の商品ラインアップの整備 |
| | 3 お客さま本位のアフターサービスの充実 |
| | 4 お客さま本位の業績評価体系の整備 |
| | 5 コンサルティング力向上に向けた取組み |




(※1) SMBCグループ ： 株式会社三井住友フィナンシャルグループのグループ会社の総称
SMBCグループ リテール事業部門 ： 三井住友銀行、SMBC日興証券、SMBC信託銀行、三井住友カード、SMBCコンシューマーファイナンス等で構成し、資産運用業務・資産形成業務等のリテールビジネス業務を所管

(※2) SMBCグループでは、役職員が共有すべき価値観(Five Values)の一つとして、『Integrity:プロフェッショナルとして高い倫理観を持ち誠実に行動する』を掲げています。

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.



三井住友フィナンシャルグループ

2025年6月時点

# 取組方針とIntegrity Indicator

## 取組方針 1 中長期分散投資を軸としたお客さま本位の運用提案

P3-10

多くのお客さまがお持ちの「資産を守りたい」「これから資産を形成していきたい」というニーズに的確に対応することを主眼に置き、中長期分散投資を軸としたお客さま本位の運用提案を行います。
また、それを通じて、お客さま本位の金融商品の提供に注力してまいります。

Integrity Indicator ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪

## 取組方針 2 お客さま本位の商品ラインアップの整備

P11-31

お客さまの「資産を守りたい」というニーズや「これから資産を形成していきたい」というニーズに的確にお応えできるよう、グループ会社の商品に関わらず、必要に応じ第三者評価も取り入れ、商品ラインアップを随時見直し、充実させてまいります。
また、お客さまへの情報提供の充実、分かりやすさの向上に努めてまいります。

Integrity Indicator ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱

## 取組方針 3 お客さま本位のアフターサービスの充実

P32-33

お客さまに長期的に安心して運用商品をお持ちいただけるよう、きめ細かいアフターサービスに努めてまいります。

## 取組方針 4 お客さま本位の業績評価体系の整備

P34

お客さま本位の営業活動を的確に行うことを促すため、業績評価体系を整備してまいります。

## 取組方針 5 コンサルティング力向上に向けた取組み

P35-36

お客さまの幅広いニーズに最適なご提案ができるよう、コンサルティング力の継続的な向上を図ってまいります。

Integrity Indicator ⑲

## Integrity Indicator

⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ :共通KPI※

① 運用資産残高増加額
② 投資信託・ファンドラップの残高
③ 運用商品をお持ちのお客さま数
④ 運用商品の商品別販売比率
⑤ 投資信託の解約率
⑥ ファンドラップの契約・解約額
⑦ 外貨定期預金預入額・外貨預金残高
⑧ 投資信託・外貨自動積立件数
⑨ 投資信託・外貨自動積立金額
⑩ NISA口座数
⑪ 一時払保険の商品別販売額
⑫ 投資信託のグループ会社商品比率
⑬ 投資信託(含むファンドラップ)販売(契約)額(毎月決算型とそれ以外の別)
⑭ 投資信託・ファンドラップの運用損益別顧客比率
⑮ 投資信託の預り残高上位銘柄のコスト・リターン
⑯ 投資信託の預り残高上位銘柄のリスク・リターン
⑰ 外貨建保険の運用評価別顧客比率
⑱ 外貨建保険の銘柄別コスト・リターン
⑲ FP資格保有比率

※共通KPI ： 「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPIについて」(2018/6金融庁公表)の定義に沿い算出
「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIの定義について」(2022/1金融庁公表)の定義に沿い算出

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.


2025年6月時点

# 取組方針 1 中長期分散投資を軸としたお客さま本位の運用提案

SMBCグループは、「お客さまにとっての最善の利益」を実現するため、統一したお客さま本位の提案プロセス「Process5」を定めております。提案については、ゴールベースアプローチ(※1)を基本とし、お客さまのライフプランや運用に関するお考え、知識・経験、資産の状況等を十分に把握し、モデルポートフォリオ(※2)の考え方を織り込んだ中長期分散投資を軸とし運用提案を行ってまいります。特に、以下のようなご提案に注力してまいります。

(※1)達成したい目標を設定し、目標達成のための運用計画を立てて投資を実行する手法 (※2)資産運用のための分散投資においてモデルとなる資産の組合せ

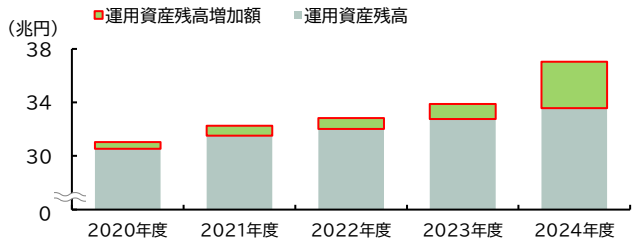
- 資産分散のため、コアとなる商品・サービスとして、ファンドラップ(※)やバランスファンドをご提案しております。(※)SMBC日興証券が提供する投資一任運用サービス。運用方針・ファンドの選択・ポートフォリオの管理等を運用会社に一任いただくもの。
- 通貨分散のため、外貨預金等の外貨建資産のご提案しております。
- 「これから資産を形成していきたい」というニーズをお持ちのお客さまに的確に対応するため、時間分散の観点から、投資信託や外貨の自動積立をご提案しております。
- 保険商品については、保険商品の元来有する特長を活用することによって、「年金」「遺す」「贈る」といったお客さまのニーズに適切に応えられるようご提案しております。
- リスク性金融商品のご提案にあたっては、比較可能な複数の商品を提示・説明し、お客さまのニーズに適合していることやリスク・手数料等の商品内容をご理解されていることを確認しながら、ご提案しております。
- お客さまが運用初心者や高齢の方の場合や、複雑またはリスクの高い金融商品を扱う場合は、より一層丁寧にご説明をしております。

## 1 運用商品のお取引状況

- 中長期分散投資を軸としたお客さま本位の取組みの継続等により、運用資産残高は2024年度も、銀行・日興・信託合算ベースで、ファンドラップを中心に増加基調。また、運用商品をお持ちのお客さま数も、引き続き増加。

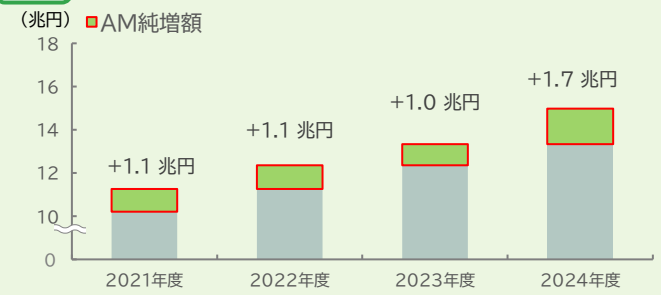
### 1 運用資産残高増加額

銀行 日興 信託




※ 銀行:リテール部門(個人)、日興:営業部門(個人)、信託:PRESTIA
※ 運用資産残高(左軸)の2021年度以前は、2022年度の残高から増加額を除して算出

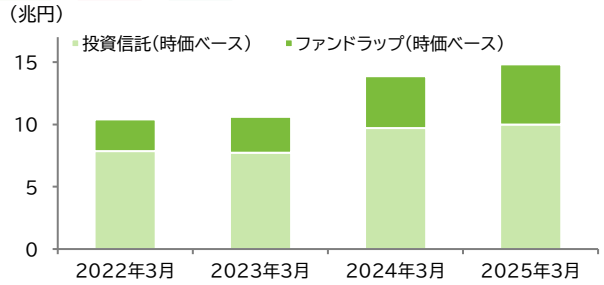
参考 AM純増額




※ AM純増額=投資信託・ファンドラップ等における増加額(除く時価影響)

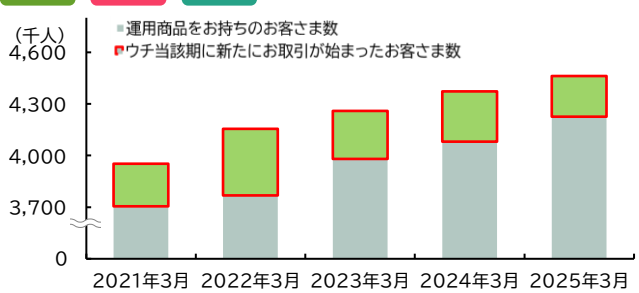
### 2 投資信託・ファンドラップの残高

銀行 日興 信託




### 3 運用商品をお持ちのお客さま数

銀行 日興 信託




※ 2017年度にSMBCフレンド証券をSMBC日興証券に統合したことによる増加分(約320千人)を含みます

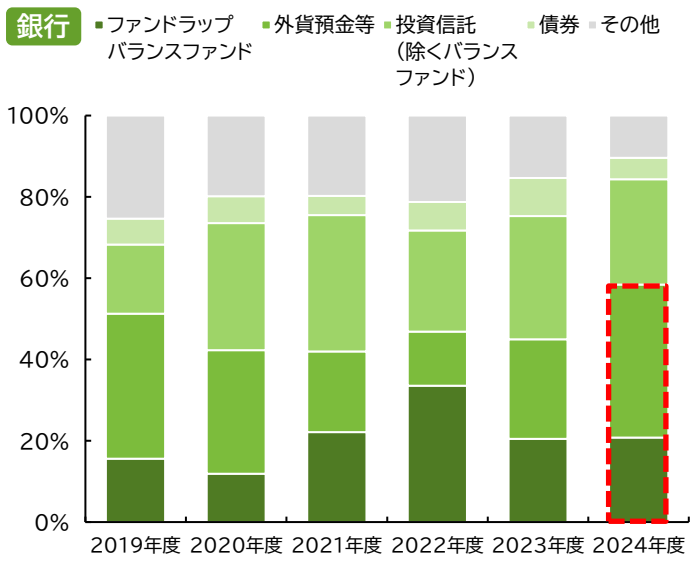
Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

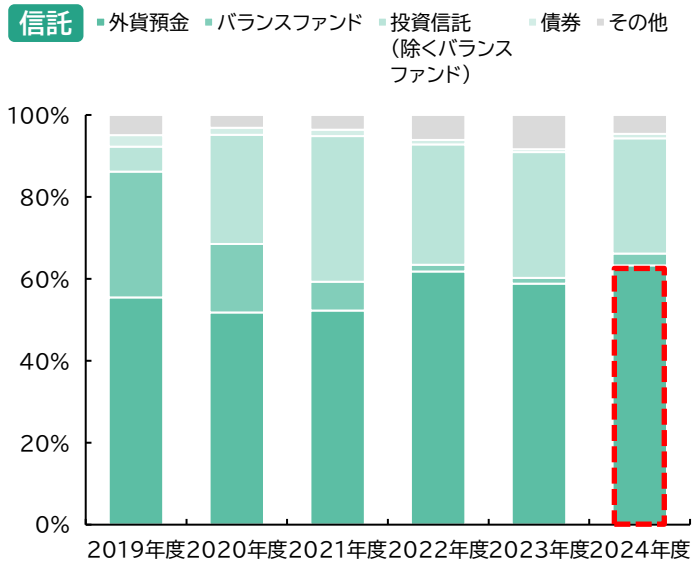
三井住友フィナンシャルグループ
2025年6月時点

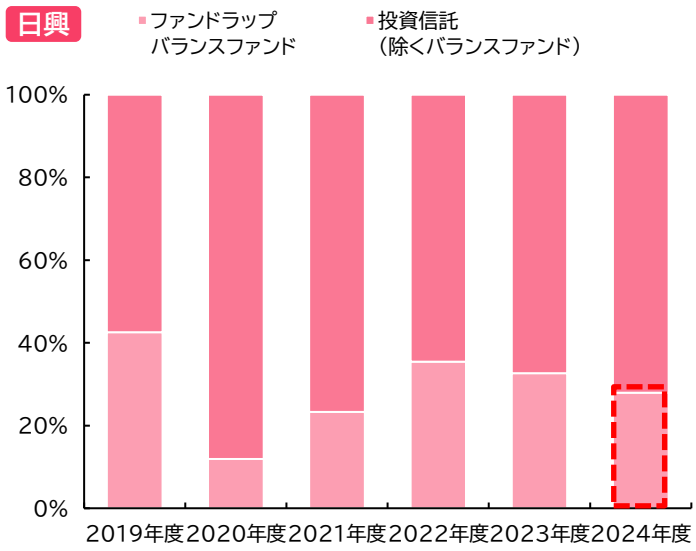
## 2 お客さまにとって最適な運用方法のご提案

- 銀行 「資産を守りたい」「これから資産を形成していきたい」というニーズをお持ちのお客さまに、ファンドラップやバランスファンドを中心とした継続的な運用提案に取り組み。また、運用初心者の方や主に為替リスクに限定した商品をご希望される方には、通貨分散の観点から外貨預金等をご提案。
  2024年度においては、インフレや為替変動などの外的要因から資産守るために、外貨預金等への関心が高まり、販売額・比率が増加。
- 日興 多様な運用ニーズをお持ちのお客さまに、ファンドラップ・バランスファンドを中心とした継続的な運用提案に取り組み、2024年度の比率は下落したもののファンドラップ・バランスファンドの契約・販売額は増加。
- 信託 外貨に関して多様なニーズをお持ちのお客さまに対し、提案力の強みを活かし、中長期分散投資を前提として、外貨建運用商品のご提案に積極的に取り組み、2024年度も外貨預金の販売比率が半数以上を占める。

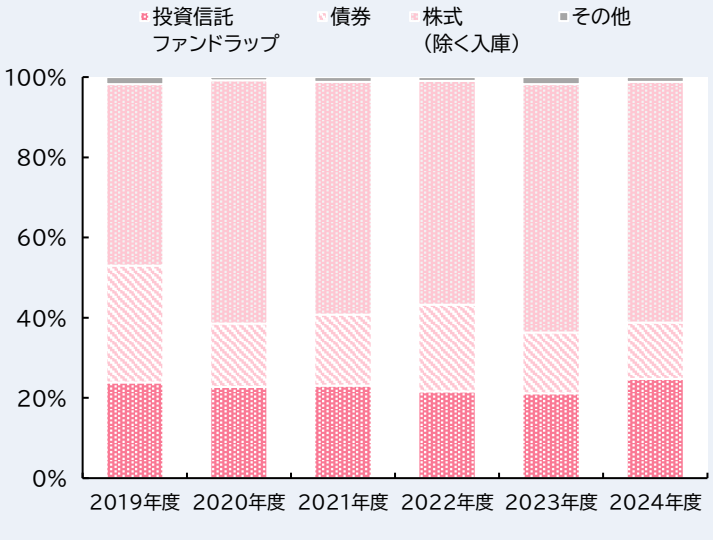
### 4 運用商品の商品別販売比率




参考 **運用商品の商品別販売比率(日興全体)**




Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

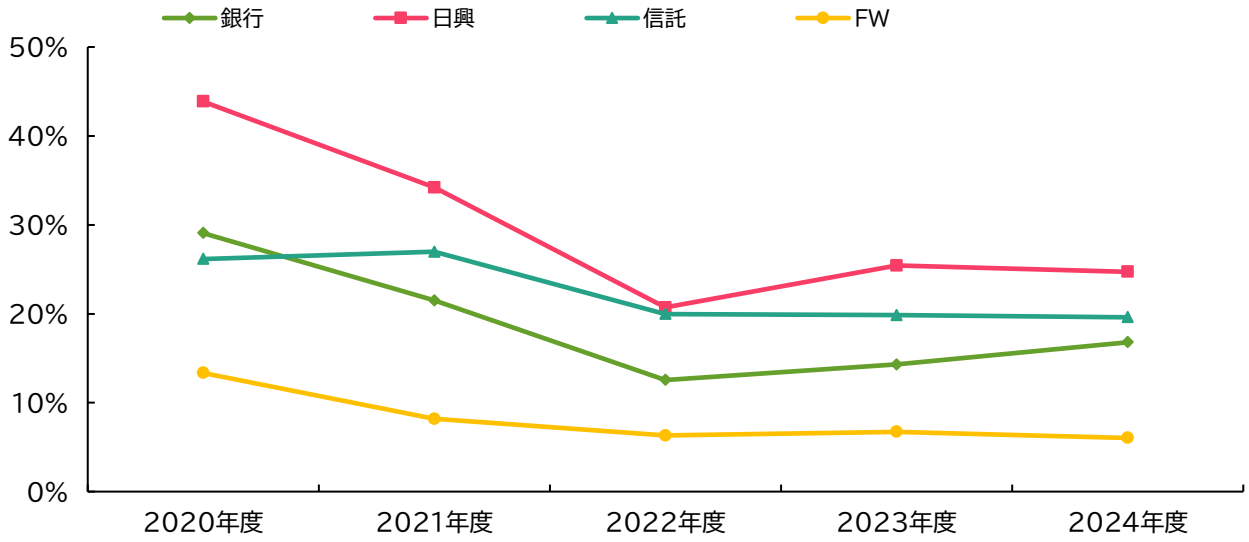
三井住友フィナンシャルグループ
2025年6月時点

## 5 投資信託の解約率

銀行 日興 信託

- 「資産を守りたい」「これから資産を形成していきたい」というニーズにお応えするために、中長期分散投資を前提とした提案を行っております。
- 投資信託の解約率(※)はマーケットの変動により、利益確定等の解約が発生したものの、前年比ほぼ横ばいで推移。
- 資産分散のコアとなるサービスであるファンドラップの解約率については、低位のまま推移。

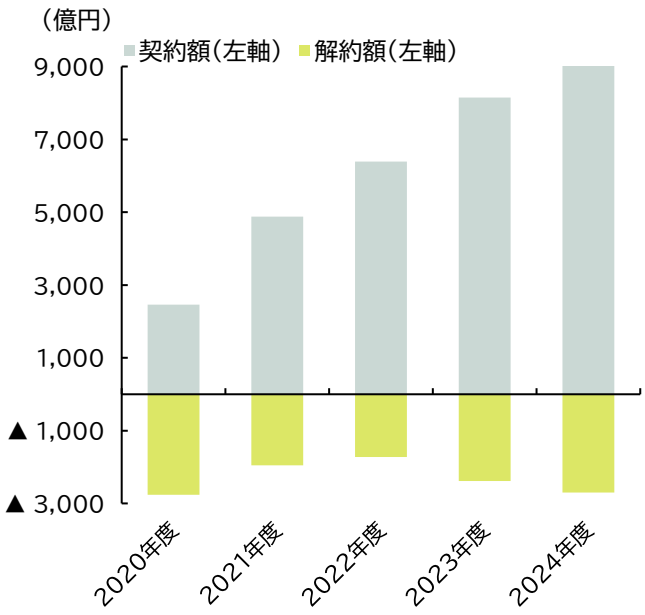
(※)「解約率」は「解約・償還額÷前期末及び今期末の残高平均」で算出



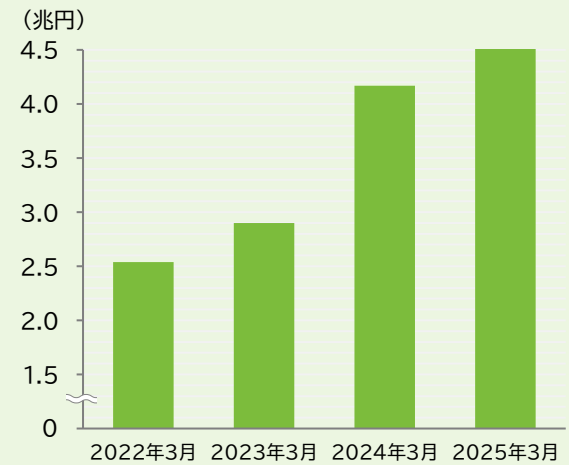

## 6 ファンドラップの契約・解約額

銀行 日興

- ファンドラップは、中長期分散投資に資するサービスのひとつとして、グループベースでの積極的な提案に努めております。




参考 ファンドラップの残高(時価ベース)




Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

三井住友フィナンシャルグループ
2025年6月時点

# 取組方針 1 中長期分散投資を軸としたお客さま本位の運用提案

## 参考 Process5について

SMBCグループは、「お客さまにとっての最善の利益」を実現するため、統一したお客さま本位の提案プロセス「Process5」を定めております。

- この「Process5」を通じ、グループ各社の担当者が、共通の目線でお客さまにご提案を行うことによって、グループベースでより高い水準のソリューションをお客さまにご提供することを目指しております。
- プロセスは統一しながらも各社の特長を活かし、各種ツールにより、お客さま一人ひとりにあったお金の持ち方のご提案に努めております。
- SGIC(※)のChief Investment Office(以下、CIO)が中立的な立場で発行するCIO's Viewを「SMBCグループのウェルスマネジメントに関する共通のビュー」と位置付け、グループベースでの高水準なポートフォリオ・コンサルティングに活用してまいります。(※) SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社
- 「ゴールベースアプローチ」・「Process5」を通して、お客さまへの対応の質を高めて、満足度向上に努めてまいります。

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

三井住友フィナンシャルグループ
2025年6月時点

# 取組方針 1 中長期分散投資を軸としたお客さま本位の運用提案

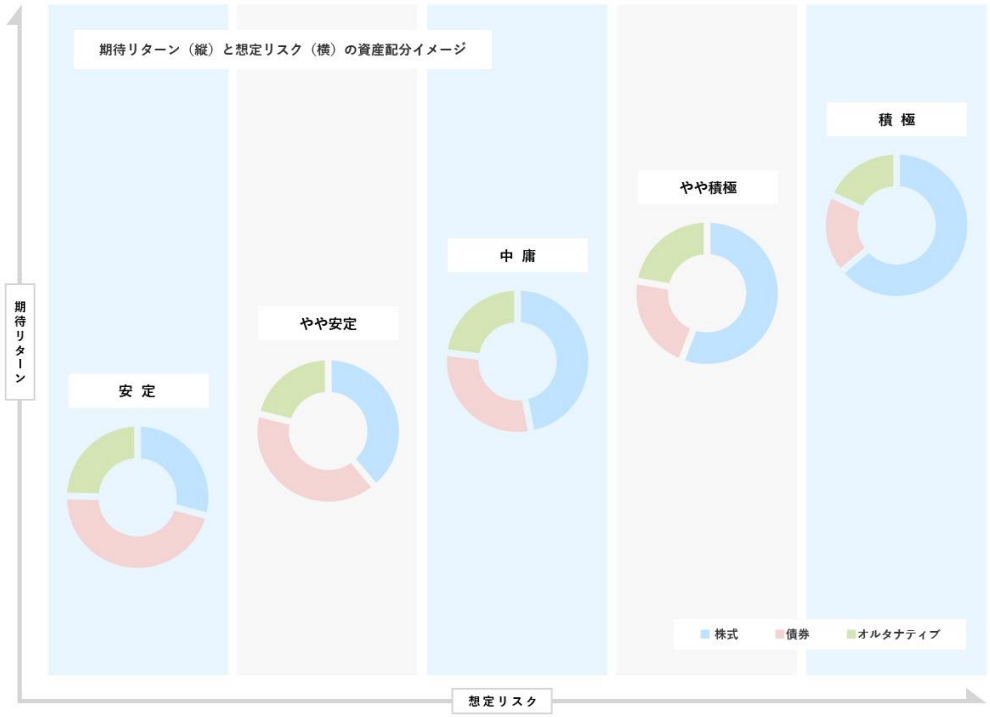
## 参考 SMBCグループのモデル・ポートフォリオ

SMBCグループは、従前よりお客さまの中長期的な資産形成のサポートを重視したソリューション提案を推進してまいりました。

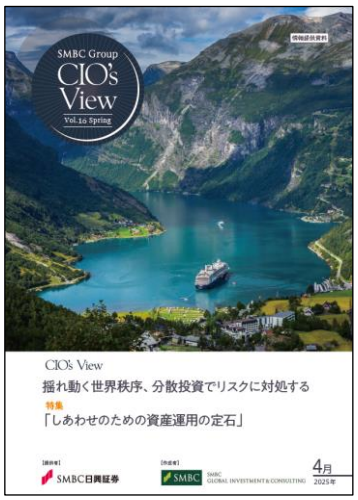
「お客さまにとっての最善の利益」をこれまで以上に追求・実現するため、日興グローバルラップ株式会社をSMFGの直接子会社へと再編。2024年10月よりSMBCグローバル・インベストメント＆コンサルティング株式会社（以下、「SGIC」）と社名変更しました。お客さまのニーズにお応えするため、運用会社と販売会社の間に立ち、質の高い運用商品選定やポートフォリオ構築支援機能を強化してまいります。

また既に運用を開始されているお客さまに対しても、資産状況等を把握の上、CIO’s Viewを基にリスク許容度に応じた最適なポートフォリオを提案する等、中長期運用に資するソリューションの提供と、良き伴走者として継続的なフォローを実施してまいります。

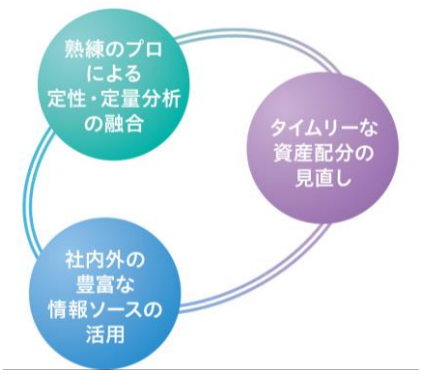
### 銀行 日興 信託 CIOが提供するモデル・ポートフォリオ




<季刊誌 CIO’s View>



CIOのモデル・ポートフォリオの特徴




モデル・ポートフォリオの資産クラス

| | |
|---|---|
| 株式 | 長期的に見込まれる世界経済の成長を享受することが期待されます。長期的なリターン獲得の主な源泉と位置付けています。 |
| 債券 | 金利収入が主なリターンの源泉であり、特に先進国の債券は他資産との低相関の傾向が見込まれます。分散効果を通じパフォーマンスを安定させる役割が期待されます。 |
| オルタナティブ | 株式や債券とは異なるリターンの源泉を持ち、分散効果やインフレヘッジ・リスクヘッジ機能等も有する資産を選定しています。パフォーマンスを安定させる役割が期待されます。 |

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

三井住友フィナンシャルグループ
2025年6月時点

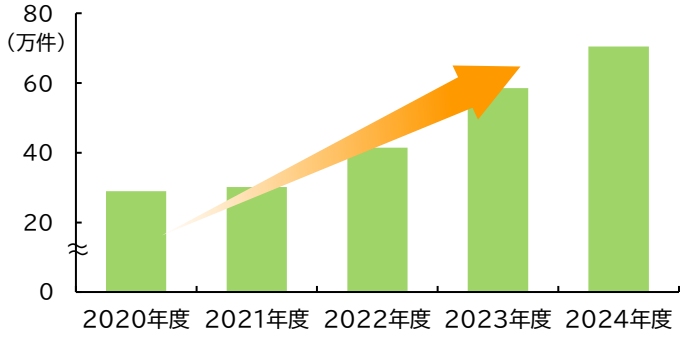
# 取組方針 1 中長期分散投資を軸としたお客さま本位の運用提案

## 参考 各社の特長を活かしたお客さま本位の運用提案の徹底

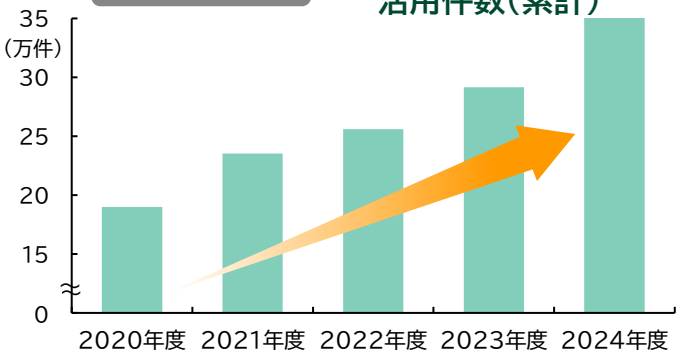
### 銀行

- お客さまの目的・目標を実現するために、資産全体のヒアリングに注力しています。
- お客さまのライフイベント・収支・ご資産等をお伺いし、ご資金の使いみちや目的を確認するために、保有資産の色分けや、マネープランの作成等を行います。

Introduction 「取組方針」リーフレット活用件数(累計)



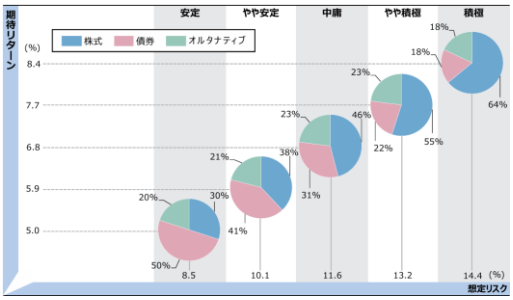

Process1 ヒアリングツール活用件数(累計)




### 日興

- お客さまの属性情報のみならず、中長期分散投資意向のご確認や、CIOモデル・ポートフォリオを用いた運用方針のすり合わせを行い、高度な資産運用コンサルティングの提供に努めております。
- 世界最高峰のリスク分析ツールであるNikko PRM Primeを用いて、お客さまの資産全体を個別銘柄単位で分析し、お客さまの投資判断をサポートしております。

＜CIOモデル・ポートフォリオ＞




＜Nikko PRM Prime＞

### 信託

- お客さまのご意向やライフプランを踏まえ、プロファイリングをベースにコンサルティングを実施すると共に、お客さまの中長期分散投資を後押しする様々なツールをご用意しております。
- リスク等も含めた商品性を十分理解していただくと共に、プロファイリングシートを用いてリスク許容度を定量的に判断し、お客さまへの最適な商品選定・コンサルティングの提供に努めております。
- モデルポートフォリオを用いたアセットクラスのご説明を行うと共に、お客さまのニーズ解決策として複数の商品を選定しご提案いたします。

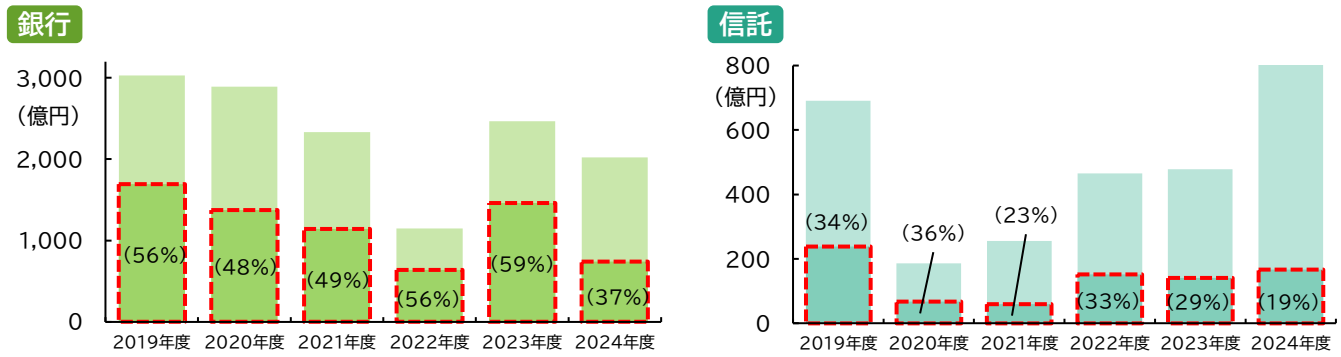
Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

三井住友フィナンシャルグループ
2025年6月時点

## 7 外貨定期預金預入額・外貨預金残高

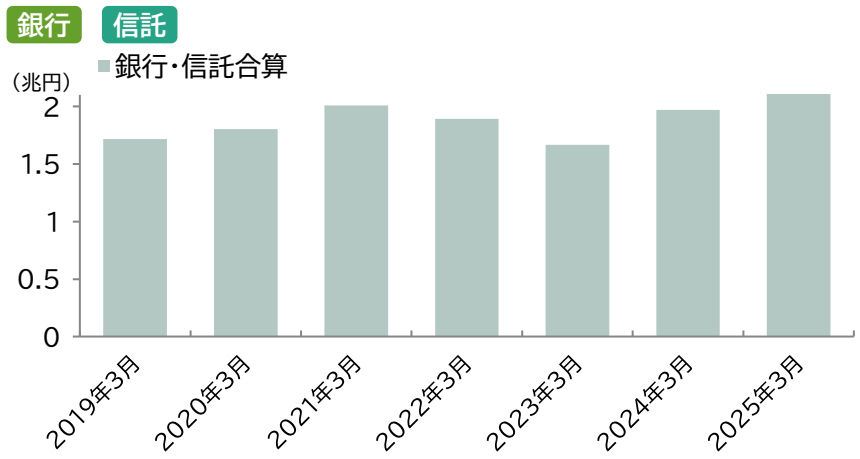
- 通貨分散の手段や導入商品として外貨定期預金の活用をご提案。

### 外貨定期預金預入額




※ ▭ は新規のお客さまの割合　※ 円を原資に取り組んだ外貨定期預金の金額
※「新規のお客さまの割合」は、上記のうち前期末に外貨預金残高の無いお客さまの預入額の比率

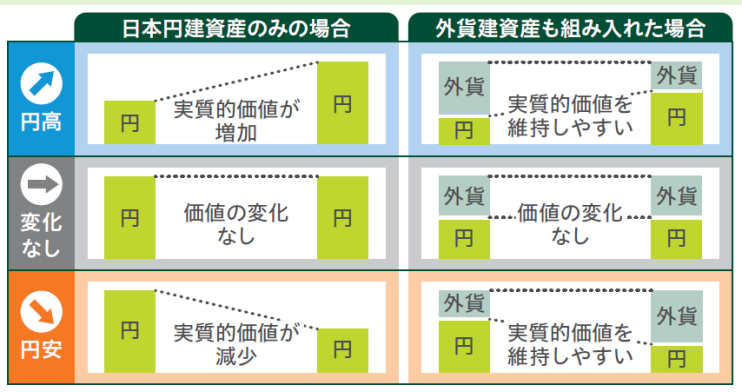
### 外貨預金残高(時価ベース)




| | 2024年3月末 | 2025年3月末 |
|---|---|---|
| 銀行 | 8,427億円 | 9,318億円 |
| 信託 | 11,268億円 | 12,195億円 |

## 参考 外貨保有の意義

- 他の通貨も含めた総合的な日本円の価値※は大きく変動しています。
- インフレや為替変動などの外的要因から資産を守るため、外貨を保有することが大切です。
- SMBCグループでは、外貨に関する多様なニーズにお応えできるよう、様々なサービスをご用意しております。(詳細はP41を参照)




※ 実質実効為替レート：相対的な通貨の実力を図るための総合的な指標。指数が高いほど購買力があり、外国製品を格安に購入できることを示す。

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

三井住友フィナンシャルグループ
2025年6月時点

## 3 時間分散に関するご提案

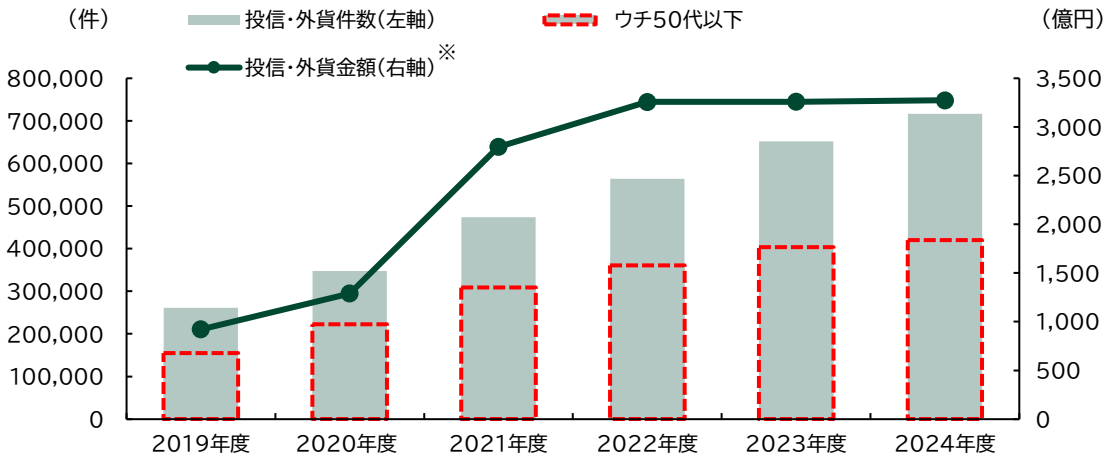
- 「これから資産を形成していきたい」というお客さまのニーズにお応えするため、投資信託、外貨自動積立の「時間分散」提案に積極的に努めてきた結果、投資信託・外貨自動積立の件数は、着実に増加。

### 8 9 投資信託・外貨自動積立（件数・金額）

銀行 日興 信託

※ 投資信託・外貨自動積立の1年間の積立金額合計

※ SBI証券仲介分は含まず




### 10 NISA口座数

銀行 日興

＜2025年3月末時点＞

| NISA口座数 | 前年比 |
|---|---|
| 202万件 | +25万件 |

※ SMBCグループにおけるSBI証券仲介分を含む

- お客さまが中長期分散投資の重要性を体感できるように努め、資産形成のすそ野拡大に貢献するためにも、NISAをご提案しております。
- 2025年3月時点のNISA口座数は前年同月比、14%増加と貢献。（日本全体の増加率も14%（※））

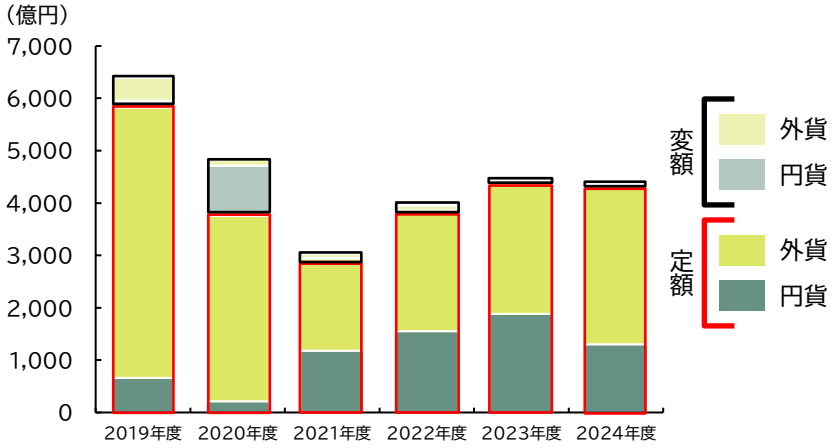
（※）「NISA口座の利用状況調査」（金融庁）
（https://www.fsa.go.jp/policy/nisa/20250508.html）
をもとに、株式会社三井住友フィナンシャルグループ作成

## 4 保険商品活用のご提案

- 保険が元来有する「年金」「遺す」「贈る」といった機能に着目したコンサルティングを継続。お客さまのニーズに応じた、ご提案を実施。

### 11 一時払保険の商品別販売額

銀行 日興 信託




**「年金」**
お客さまに、これからの過ごし方について考えていただき、適切な資産の持ち方をご選択いただいております。

**「遺す・贈る」**
お客さまご自身に、万一のことがあった場合に、ご家族等大切な方へ確実に遺すため、適切な商品をご選択いただいております。

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

三井住友フィナンシャルグループ
2025年6月時点

# 取組方針 2 お客さま本位の商品ラインアップの整備

お客さまのニーズを的確に捉え、グローバル水準でより優れた商品の開発に努めます。経済環境・市場動向を踏まえてグループ会社(※)であるか否かに関わらず、必要に応じ第三者評価も取り入れ、幅広い運用会社・保険会社等からお客さまのニーズに合った商品を取り揃えてまいります。また各商品において、販売対象として適切なお客さまの層を特定し、販売する社員への理解の浸透に努めます。これらにおいて、商品導入後も継続的なモニタリングを行い、品質を維持してまいります。

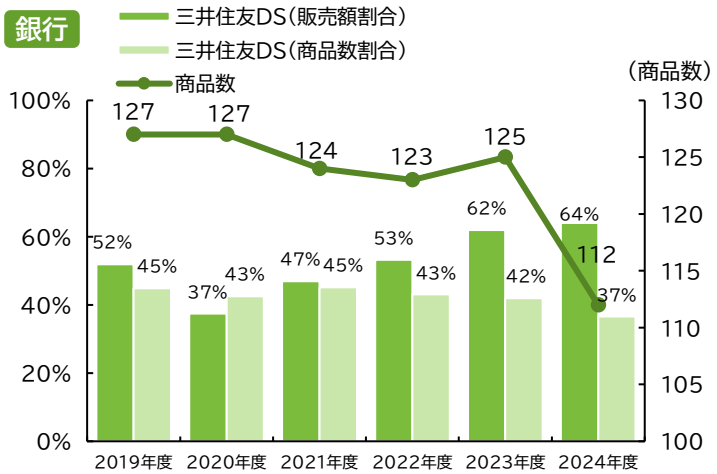
- これから資産運用を始められるお客さまや、リスクを抑えた資産運用を行いたいとお考えのお客さまのニーズに幅広くお応えするため、ラインアップを拡充しております。また、外貨預金等の外貨建資産について、主に為替リスクに限定した商品をご希望される方に加え、資産価値の安定化の観点からもご提案しております。
- 毎月決算型投資信託は、「資産を取り崩しながら運用するニーズ」に応える商品性と位置づけています。受け取られた分配金をお使いになるニーズがない場合や、中長期の資産形成を目的とした積立や分配金再投資をご希望の場合などには、資産成長型(年1回決算型等)のご提案等を行っております。
- 販売する商品の特性・リスク・運用実績・手数料・取引条件やその商品をお奨めする理由、お客さまとの利益相反の可能性がある場合には、その具体的内容と影響、経済環境・市場動向等に関する情報について、お客さまや商品の特性・リスクを踏まえ、分かりやすくご提供するとともに、情報の充実に努めております。
- お客さまにお示しするパンフレットや書類等については、ユニバーサルデザインを意識し、分かりやすさの工夫に努めております。

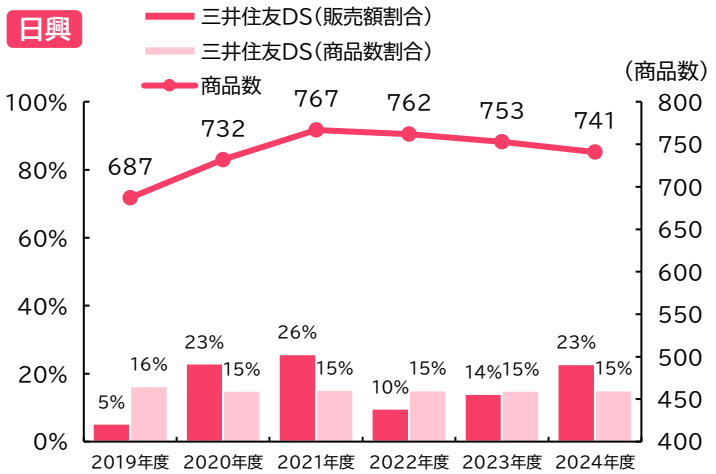
(※)グループ会社 ： 三井住友DSアセットマネジメント株式会社(以下、三井住友DS)

## 1 グループ会社商品の販売状況

- 銀行 2024年度はグループ会社商品比率は、販売額で64%、商品数で37%。
- 日興 2024年度はグループ会社商品比率は、販売額で23%、商品数で15%。

### 12 投資信託のグループ会社商品比率




信託 2024年度末時点ではグループ会社商品の取り扱いは5商品のみ。

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

三井住友フィナンシャルグループ
2025年6月時点

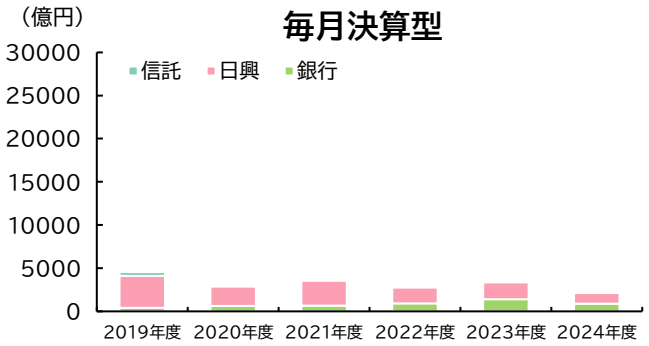
## 2 投資信託(毎月決算型商品等)の販売状況

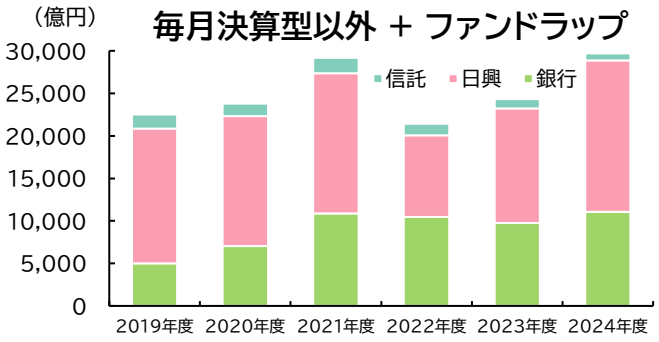
- 毎月決算型以外の投資信託・ファンドラップの販売・契約額は、毎月決算型の投資信託の販売額を大きく上回っている状況。
- 引き続き複利効果(※)を丁寧にご説明し、お客さまの中長期分散投資に資するご提案に努めてまいります。

(※)複利効果:投資資金を運用して得られた利益が更に運用されて増えていく効果

### 13 投資信託(含むファンドラップ)販売(契約)額(毎月決算型とそれ以外の別)

銀行
日興
信託




### 参考 投資信託に関する管理プロセス

**銀行**

| | | |
|---|---|---|
| 導入時 | 随時 | • SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング社(※)による、運用調査体制の充実度や運用管理体制等、主に定性面を含めた評価を実施。 |
| 運用開始後 | 通年 | • 残高が少なく今後の残高拡大が見込めないファンド等、長期的な資産形成に資する商品の品質を維持できない可能性があるファンドは償還の促進・販売停止を検討し、ラインアップの適正化を行う。 |
| | 年次 | • SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング社による、取扱い全ファンドの定量・定性両面から5段階評価を実施し、異常値をチェック。<br>• 特に多くのお客さまにお持ちいただいているファンドについて、業界全体における相対評価の視点を踏まえた定量分析を実施。 |

**日興**

| | | |
|---|---|---|
| 導入時 | 随時 | • お客さまのニーズやポートフォリオ分散をふまえ、ベストプロダクト・ポリシーに基づき、新規導入商品を検討。<br>• 導入にあたっては、社内での調査に加え、SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング社による、運用調査体制の充実度や運用管理体制等、主に定性面を含めた評価も実施。 |
| 運用開始後 | 通年 | • パフォーマンスと比較し、過度に分配金を出しているファンドの分配方針と分配金引下げの有無を確認。<br>• 他社取扱いも含めた日本国内の公募ファンドを社内で独自に分類の上、取扱い全ファンドについてパフォーマンスの優劣を日次でモニタリング。残高が少なく今後の残高拡大が見込めないファンド等、長期的な資産形成に資する商品の品質を維持できない可能性があるファンドは償還の促進・販売停止を検討し、ラインアップの適正化を行う。 |
| | | • 取扱いファンドに対して、SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング社による定量・定性両面からの評価を実施し、長期保有に適した商品ラインアップの維持に努める。 |

**信託**

| | | |
|---|---|---|
| 導入時 | 随時 | • RFI(情報提供依頼書)および運用会社との個別ミーティング、現地調査等を踏まえ、普遍性・本質性・再現性の観点から長期持続性のあるプロダクトを検討。導入にあたっては、SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング社による評価を実施する。 |
| 運用開始後 | 半期 | • 資産クラスおよびボラティリティから商品のリスクをスコア化し、妥当性を検証の上、変更を検討。 |
| | 年次 | • SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング社による運用会社インタビュー等を通じた定量・定性分析を実施し、運用状況、運用者等の詳細情報をモニタリング。低評価となったファンドについては、背景等の精査を行い、低評価要因が構造的要因(回復見込みなし)によるものと判断したファンドについては、販売状況や販売抑制の必要性の度合いに応じて、勧誘不可もしくは募集停止の取扱いとする。 |

(※)SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社は2024年10月1日に日興グローバルラップ社から商号変更

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

三井住友フィナンシャルグループ
2025年6月時点

# 3 投資信託販売会社における比較可能な成果指標

- 2018年6月に金融庁より公表された「投資信託販売会社における比較可能な成果指標（共通KPI）について」の中で定義された指標の検証結果。

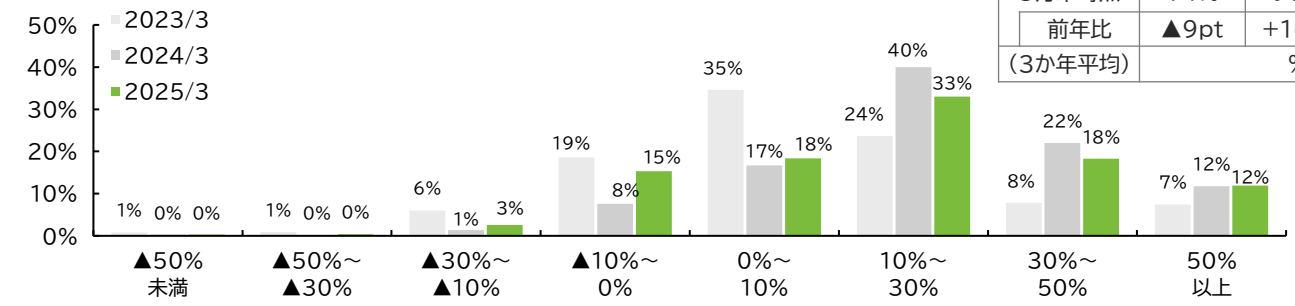
【共通KPI】
- ✓「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPIについて」（2018/6金融庁公表）の定義に沿って算出
- ✓ 各時点で解約済みの銘柄は含まず
- ✓ 運用損益比率＝トータルリターン/時価評価額

## 14 投資信託・ファンドラップの運用損益別顧客比率 共通KPI

※運用損益別顧客比率「0%」表記には、1%未満を含む（小数点以下は四捨五入）。

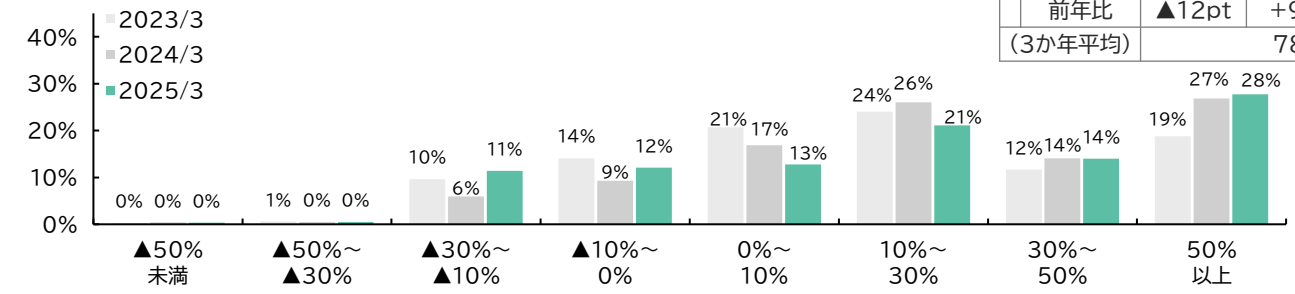
### 銀行 投資信託

| プラス顧客 | 2023年 | 2024年 | 2025年 |
|---|---|---|---|
| 3月末時点 | 74% | 90% | 82% |
| 前年比 | ▲9pt | +16pt | ▲8pt |
| （3か年平均） | % | | |



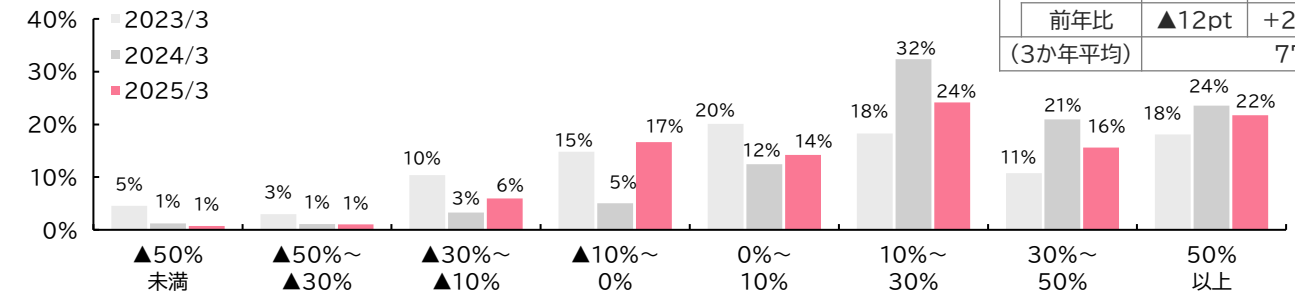

### 信託 投資信託

| プラス顧客 | 2023年 | 2024年 | 2025年 |
|---|---|---|---|
| 3月末時点 | 75% | 84% | 76% |
| 前年比 | ▲12pt | +9pt | ▲8pt |
| （3か年平均） | 78% | | |



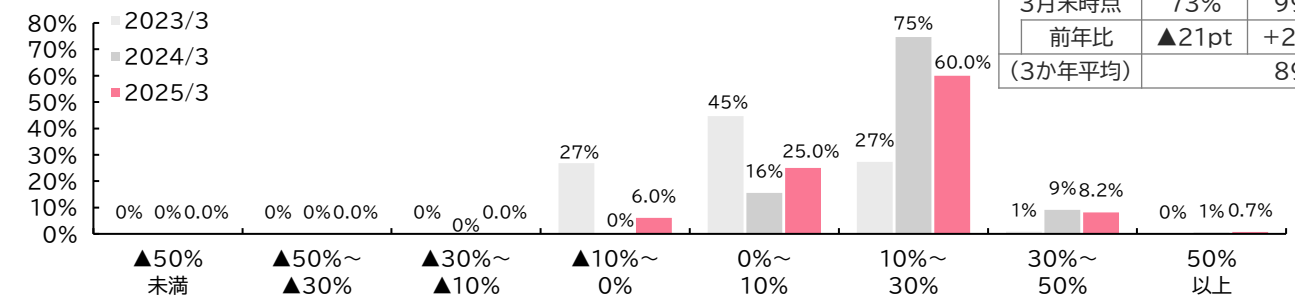

### 日興 投資信託

| プラス顧客 | 2023年 | 2024年 | 2025年 |
|---|---|---|---|
| 3月末時点 | 67% | 89% | 76% |
| 前年比 | ▲12pt | +22pt | ▲13pt |
| （3か年平均） | 77% | | |




### ファンドラップ

| プラス顧客 | 2023年 | 2024年 | 2025年 |
|---|---|---|---|
| 3月末時点 | 73% | 99% | 94% |
| 前年比 | ▲21pt | +26pt | ▲5pt |
| （3か年平均） | 89% | | |

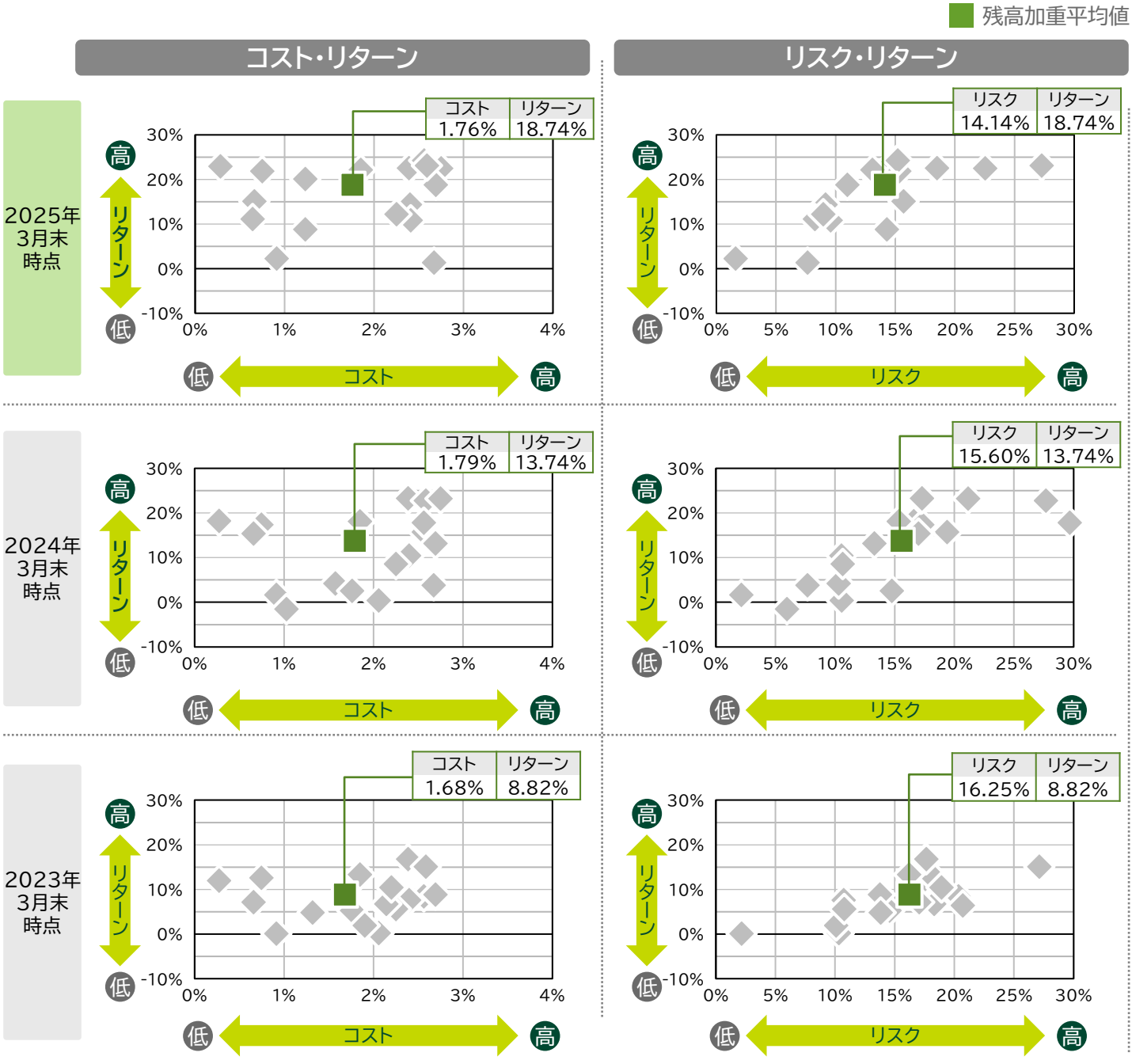



Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

三井住友フィナンシャルグループ
2025年6月時点

## 15 16 投資信託の預り残高上位銘柄のコスト・リターン、リスク・リターン 共通KPI

銀行 残高上位20銘柄について示しております。相場が上昇した結果、2025年3月末時点では、残高上位20銘柄中、19銘柄でリターンがコストを上回っております。




※ 2024年3月末時点で、設定期間5年超のファンドのみ
※ リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）
※ コスト：販売手数料率（税込）／5＋信託報酬率
※ リターン：過去5年間のトータルリターン（月次ベースを年率換算）

### 参考 コスト・リターン・リスク3か年推移

| | コスト | 前年比 | リターン | 前年比 | リスク | 前年比 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2025年3月末 | 1.76% | △0.03pt | 18.74% | +5.00pt | 14.14% | △1.46pt |
| 2024年3月末 | 1.79% | +0.11pt | 13.74% | +4.92pt | 15.60% | △0.65pt |
| 2023年3月末 | 1.68% | △0.14pt | 8.82% | ▲1.73pt | 16.25% | +0.84pt |

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

三井住友フィナンシャルグループ
2025年6月時点

## 15 16 投資信託の預り残高上位銘柄のコスト・リターン、リスク・リターン 共通KPI

銀行

### 2025年3月末時点

| | ファンド名 | コスト | リスク | リターン |
|---|---|---|---|---|
| 1 | インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞(毎月決算型) | 2.56% | 15.12% | 24.15% |
| 2 | 三井住友・DCつみたてNISA・全海外株インデックスファンド | 0.28% | 14.45% | 22.89% |
| 3 | 三井住友・NYダウ・ジョーンズ指数オープン(為替ヘッジなし) | 0.75% | 15.32% | 21.85% |
| 4 | 三井住友・225オープン | 0.66% | 15.69% | 15.05% |
| 5 | ダブル・ブレイン | 2.67% | 7.63% | 1.32% |
| 6 | アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし)予想分配金提示型 | 2.39% | 18.36% | 22.39% |
| 7 | SMBC円資産ファンド | 0.91% | 1.60% | 2.27% |
| 8 | フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(毎月決算型)B(為替ヘッジなし) | 2.40% | 9.14% | 14.34% |
| 9 | アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース(為替ヘッジなし) | 2.39% | 18.49% | 22.52% |
| 10 | ピクテ・ゴールド(為替ヘッジなし) | 1.23% | 13.56% | 20.09% |
| 11 | HSBC インド・インフラ株式オープン | 2.75% | 21.91% | 37.21% |
| 12 | インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞(年1回決算型) | 2.56% | 15.21% | 24.23% |
| 13 | ライフ・ジャーニー(かしこく育てるコース) | 2.41% | 9.57% | 10.83% |
| 14 | netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース(為替ヘッジなし) | 2.75% | 22.53% | 22.45% |
| 15 | 日興レジェンド・イーグル・ファンド(毎月決算コース) | 2.69% | 10.98% | 18.79% |
| 16 | グローバルAIファンド | 2.59% | 27.28% | 23.07% |
| 17 | ブラックロック・つみたて・グローバルバランスファンド | 0.64% | 8.26% | 11.12% |
| 18 | ピクテ・ゴールド(為替ヘッジあり) | 1.23% | 14.29% | 8.77% |
| 19 | GS ハイ・イールド・ボンド・ファンド | 2.25% | 8.95% | 12.17% |
| 20 | グローバル好配当株オープン | 1.85% | 13.07% | 22.09% |
| | 残高加重平均値 | 1.76% | 14.14% | 18.74% |

### 2024年3月末時点

| | ファンド名 | コスト | リスク | リターン |
|---|---|---|---|---|
| 1 | インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞(毎月決算型) | 2.56% | 19.39% | 15.71% |
| 2 | ダブル・ブレイン | 2.67% | 7.69% | 3.80% |
| 3 | 三井住友・DCつみたてNISA・全海外株インデックスファンド | 0.28% | 16.63% | 18.21% |
| 4 | 三井住友・225オープン | 0.66% | 17.08% | 15.45% |
| 5 | 三井住友・NYダウ・ジョーンズ指数オープン(為替ヘッジなし) | 0.75% | 17.31% | 17.37% |
| 6 | アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし)予想分配金提示型 | 2.39% | 17.18% | 23.15% |
| 7 | フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(毎月決算型)B(為替ヘッジなし) | 2.40% | 10.54% | 10.46% |
| 8 | アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース(為替ヘッジなし) | 2.39% | 17.29% | 23.28% |
| 9 | 日興レジェンド・イーグル・ファンド(毎月決算コース) | 2.69% | 13.30% | 13.19% |
| 10 | SMBC円資産ファンド | 0.91% | 2.15% | 1.67% |
| 11 | グローバルAIファンド | 2.59% | 27.67% | 22.74% |
| 12 | JPMベスト・インカム(毎月決算型) | 2.06% | 10.55% | 0.38% |
| 13 | 三井住友・豪ドル債ファンド | 1.57% | 10.30% | 4.18% |
| 14 | GS ハイ・イールド・ボンド・ファンド | 2.25% | 10.63% | 8.55% |
| 15 | USテクノロジー・イノベーターズ・ファンド | 2.56% | 29.68% | 17.83% |
| 16 | 日系企業海外債券オープン(為替ヘッジあり) | 1.03% | 5.98% | ▲1.51% |
| 17 | エス・ビー・日本株オープン225 | 0.66% | 17.00% | 15.38% |
| 18 | J－REIT・リサーチ・オープン(毎月決算型) | 1.76% | 14.76% | 2.54% |
| 19 | グローバル好配当株オープン | 1.85% | 15.34% | 18.09% |
| 20 | netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース(為替ヘッジなし) | 2.75% | 21.15% | 23.19% |
| | 残高加重平均値 | 1.79% | 15.60% | 13.74% |

### 2023年3月末時点

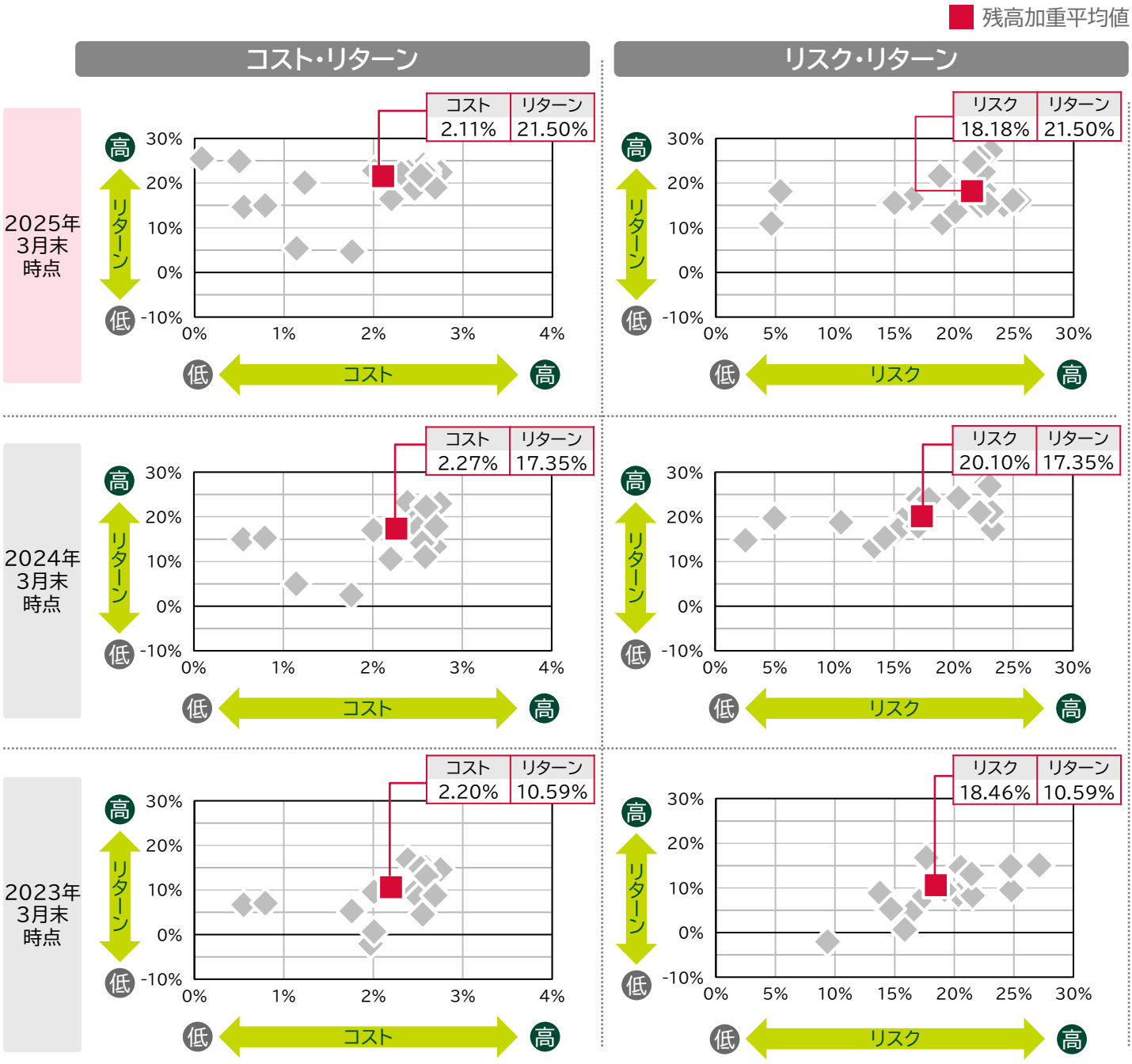
| | ファンド名 | コスト | リスク | リターン |
|---|---|---|---|---|
| 1 | インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞(毎月決算型) | 2.56% | 20.35% | 8.45% |
| 2 | 三井住友・225オープン | 0.66% | 17.11% | 7.12% |
| 3 | 三井住友・DCつみたてNISA・全海外株インデックスファンド | 0.28% | 17.42% | 11.93% |
| 4 | 三井住友・NYダウ・ジョーンズ指数オープン(為替ヘッジなし) | 0.75% | 18.26% | 12.58% |
| 5 | アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし)予想分配金提示型 | 2.39% | 17.56% | 16.69% |
| 6 | フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド | 2.40% | 10.72% | 7.59% |
| 7 | JPMベスト・インカム(毎月決算型) | 2.06% | 10.32% | 0.21% |
| 8 | J－REIT・リサーチ・オープン(毎月決算型) | 1.76% | 14.58% | 5.25% |
| 9 | 三井住友・豪ドル債ファンド | 1.90% | 10.08% | 1.92% |
| 10 | 日興レジェンド・イーグル・ファンド(毎月決算コース) | 2.69% | 13.76% | 8.80% |
| 11 | アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース(為替ヘッジなし) | 2.39% | 17.66% | 16.79% |
| 12 | GS ハイ・イールド・ボンド・ファンド | 2.25% | 10.77% | 5.60% |
| 13 | ゴールドマン・サックス米国REITファンドBコース(為替ヘッジなし) | 2.12% | 20.70% | 6.38% |
| 14 | グローバル好配当株オープン | 1.85% | 16.21% | 13.33% |
| 15 | SMBC円資産ファンド | 0.91% | 2.16% | 0.11% |
| 16 | グローバルREITオープン | 2.15% | 18.31% | 6.74% |
| 17 | グローバルAIファンド | 2.59% | 27.13% | 15.08% |
| 18 | エス・ビー・日本株オープン225 | 0.66% | 17.05% | 7.13% |
| 19 | フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし) | 2.20% | 18.92% | 10.40% |
| 20 | ピクテ・ゴールド(為替ヘッジあり) | 1.32% | 13.83% | 4.79% |
| | 残高加重平均値 | 1.68% | 16.25% | 8.82% |

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.


2025年6月時点

## 15 16 投資信託の預り残高上位銘柄のコスト・リターン、リスク・リターン 共通KPI

日興 残高上位20銘柄について示しております。相場が上昇した結果、2025年3月末時点では、残高上位20銘柄中、20銘柄の全銘柄でリターンがコストを上回っております。




※ 2025年3月末時点で、設定期間5年超のファンドのみ
※ リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）
※ コスト：販売手数料率（税込）／5＋信託報酬率
※ リターン：過去5年間のトータルリターン（月次ベースを年率換算）

### 参考 コスト・リターン・リスク3か年推移

| | コスト | 前年比 | リターン | 前年比 | リスク | 前年比 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2025年3月末 | 2.11% | △0.16pt | 21.50% | +4.15pt | 18.18% | +1.92pt |
| 2024年3月末 | 2.27% | +0.07pt | 17.35% | +6.76pt | 20.10% | +1.64pt |
| 2023年3月末 | 2.20% | △0.06pt | 10.59% | ▲3.16pt | 18.46% | +1.60pt |

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

三井住友フィナンシャルグループ
2025年6月時点

## 15 16 投資信託の預り残高上位銘柄のコスト・リターン、リスク・リターン 共通KPI

日興

### 2025年3月末時点

| | ファンド名 | コスト | リスク | リターン |
|---|---|---|---|---|
| 1 | アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし)予想分配金提示型 | 2.39% | 18.36% | 22.39% |
| 2 | インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞(毎月決算型)(愛称:世界のベスト) | 2.56% | 15.12% | 24.15% |
| 3 | アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース(為替ヘッジなし) | 2.39% | 18.49% | 22.52% |
| 4 | HSBC インド・インフラ株式オープン | 2.75% | 21.91% | 37.21% |
| 5 | netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース(為替ヘッジなし) | 2.75% | 22.53% | 22.45% |
| 6 | グローバルAIファンド | 2.59% | 27.28% | 23.07% |
| 7 | J-REIT・リサーチ・オープン(毎月決算型) | 1.76% | 10.98% | 4.66% |
| 8 | フィデリティ・USリート・ファンド B(為替ヘッジなし) | 2.20% | 16.47% | 16.45% |
| 9 | 日経225ノーロードオープン | 0.55% | 15.65% | 14.63% |
| 10 | eMAXIS Slim米国株式(S&P500) | 0.08% | 16.20% | 25.47% |
| 11 | フィデリティ・世界割安成長株投信 Bコース(為替ヘッジなし) 愛称:テンバガー・ハンター | 2.31% | 14.96% | 22.23% |
| 12 | モビリティ・イノベーション・ファンド | 2.46% | 21.62% | 18.80% |
| 13 | 米国株式インデックス・ファンド | 0.50% | 16.21% | 24.92% |
| 14 | インデックスファンド225 | 0.79% | 15.62% | 15.00% |
| 15 | グローバルAIファンド(予想分配金提示型) | 2.59% | 25.70% | 22.07% |
| 16 | グローバル3倍3分法ファンド(1年決算型) | 1.14% | 18.18% | 5.41% |
| 17 | GS グローバル・ビッグデータ投資戦略Bコース(為替ヘッジなし) | 2.01% | 15.42% | 22.79% |
| 18 | 日興レジェンド・イーグル・ファンド(資産成長コース) | 2.69% | 11.07% | 19.00% |
| 19 | サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし) | 2.53% | 24.71% | 21.67% |
| 20 | ピクテ・ゴールド(為替ヘッジなし) | 1.23% | 13.56% | 20.09% |
| | 残高加重平均値 | 2.11% | 18.36% | 21.50% |

### 2024年3月末時点

| | ファンド名 | コスト | リスク | リターン |
|---|---|---|---|---|
| 1 | アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし)予想分配金提示型 | 2.39% | 17.18% | 23.15% |
| 2 | インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞(毎月決算型)(愛称:世界のベスト) | 2.56% | 19.39% | 15.71% |
| 3 | アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース(為替ヘッジなし) | 2.39% | 17.29% | 23.28% |
| 4 | J-REIT・リサーチ・オープン(毎月決算型) | 1.76% | 14.76% | 2.54% |
| 5 | グローバルAIファンド | 2.59% | 27.67% | 22.74% |
| 6 | フィデリティ・USリート・ファンド B(為替ヘッジなし) | 2.20% | 18.82% | 10.56% |
| 7 | netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース(為替ヘッジなし) | 2.75% | 21.15% | 23.19% |
| 8 | HSBC インド・インフラ株式オープン | 2.75% | 26.98% | 23.02% |
| 9 | モビリティ・イノベーション・ファンド | 2.46% | 24.07% | 17.04% |
| 10 | 日経225ノーロードオープン | 0.55% | 17.03% | 15.03% |
| 11 | インデックスファンド225 | 0.79% | 17.02% | 15.33% |
| 12 | グローバル3倍3分法ファンド(1年決算型) | 1.14% | 19.79% | 4.99% |
| 13 | サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし) | 2.53% | 24.26% | 20.42% |
| 14 | GS グローバル・ビッグデータ投資戦略Bコース(為替ヘッジなし) | 2.01% | 17.92% | 17.03% |
| 15 | 次世代通信関連 世界株式戦略ファンド(愛称:THE 5G) | 2.51% | 22.85% | 17.55% |
| 16 | グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型) | 2.60% | 21.01% | 22.19% |
| 17 | 日興レジェンド・イーグル・ファンド(資産成長コース) | 2.69% | 13.41% | 13.34% |
| 18 | 日興ジャパンオープン(愛称:ジパング) | 2.55% | 15.28% | 14.22% |
| 19 | グローバル・フィンテック株式ファンド | 2.59% | 35.86% | 11.09% |
| 20 | 高成長インド・中型株式ファンド | 2.71% | 23.99% | 17.92% |
| | 残高加重平均値 | 2.27% | 20.10% | 17.35% |

### 2023年3月末時点

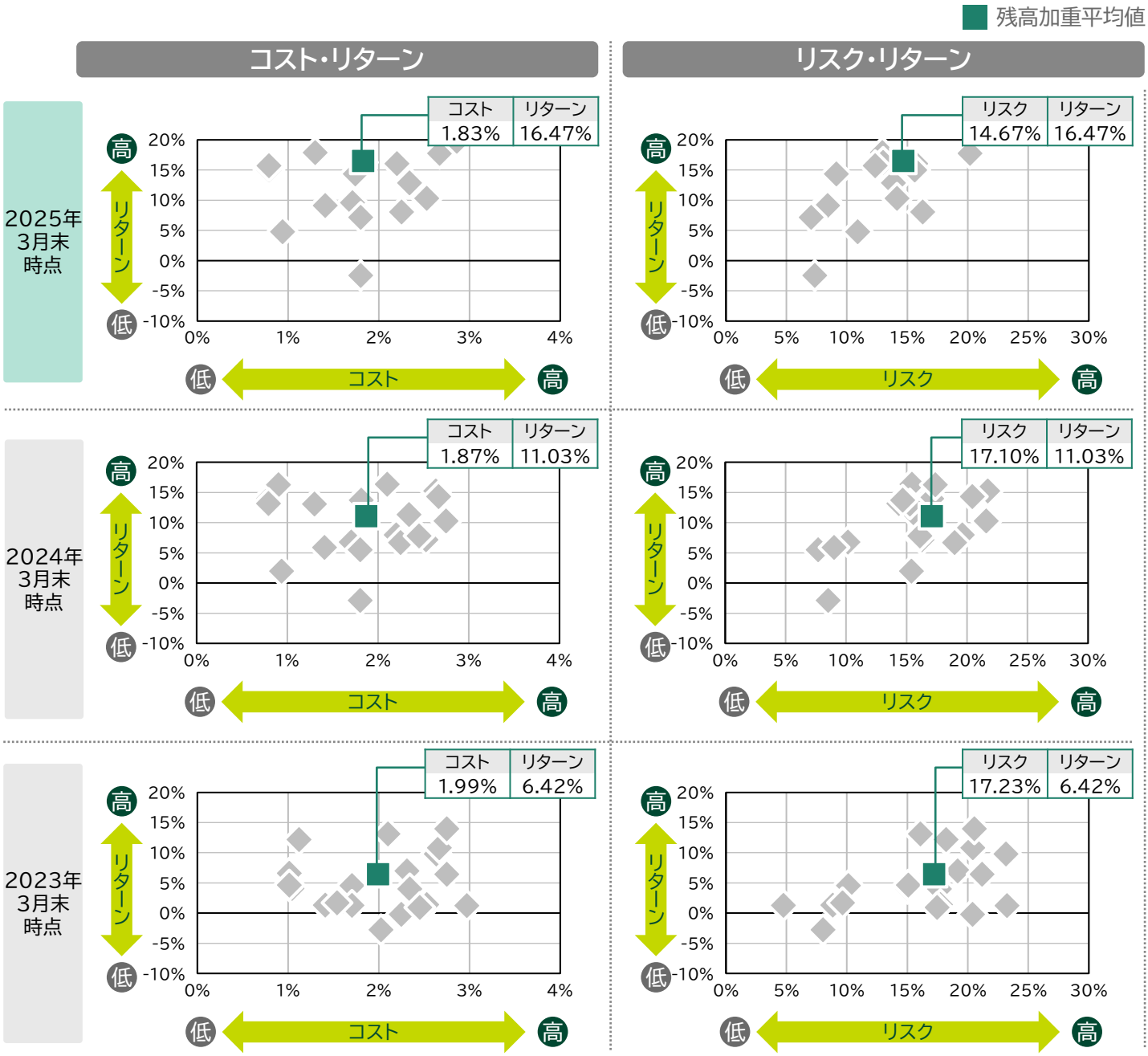
| | ファンド名 | コスト | リスク | リターン |
|---|---|---|---|---|
| 1 | アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし)予想分配金提示型 | 2.39% | 17.56% | 16.69% |
| 2 | J-REIT・リサーチ・オープン(毎月決算型) | 1.76% | 14.58% | 5.25% |
| 3 | アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース(為替ヘッジなし) | 2.39% | 17.66% | 16.79% |
| 4 | フィデリティ・USリート・ファンド B(為替ヘッジなし) | 2.20% | 18.92% | 10.40% |
| 5 | グローバルAIファンド | 2.59% | 27.13% | 15.08% |
| 6 | モビリティ・イノベーション・ファンド | 2.46% | 24.80% | 9.51% |
| 7 | netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース(為替ヘッジなし) | 2.75% | 20.53% | 14.60% |
| 8 | 日経225ノーロードオープン | 0.55% | 17.06% | 6.68% |
| 9 | インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞(毎月決算型)(愛称:世界のベスト) | 2.56% | 20.35% | 8.45% |
| 10 | サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし) | 2.53% | 24.72% | 14.87% |
| 11 | 日興グローバル金融機関ハイブリッド証券ファンド(クラスB) | 1.97% | 9.36% | ▲2.05% |
| 12 | インデックスファンド225 | 0.79% | 17.06% | 7.03% |
| 13 | GS グローバル・ビッグデータ投資戦略Bコース(為替ヘッジなし) | 2.01% | 19.19% | 9.57% |
| 14 | 次世代通信関連 世界株式戦略ファンド(愛称:THE 5G) | 2.51% | 21.54% | 8.24% |
| 15 | グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型) | 2.60% | 21.45% | 13.09% |
| 16 | 日興レジェンド・イーグル・ファンド(資産成長コース) | 2.69% | 13.87% | 8.93% |
| 17 | 日興レジェンド・イーグル・ファンド(毎月決算コース) | 2.69% | 13.76% | 8.80% |
| 18 | 日興ジャパンオープン(愛称:ジパング) | 2.55% | 16.35% | 4.53% |
| 19 | ニッポン・オフショア・ファンズ－新興国社債オープン 円ヘッジなし毎月分配型クラスB | 2.01% | 15.85% | 0.68% |
| 20 | J-REIT・リサーチ・オープン(年2回決算型) | 1.76% | 14.70% | 5.25% |
| | 残高加重平均値 | 2.20% | 18.46% | 10.59% |

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.


2025年6月時点

## 15 16 投資信託の預り残高上位銘柄のコスト・リターン、リスク・リターン 共通KPI

信託 残高上位20銘柄について示しております。相場が上昇した結果、2025年3月末時点では、残高上位20銘柄中、19銘柄でリターンがコストを上回っております。




※ 2025年3月末時点で、設定期間5年超のファンドのみ
※ リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）
※ コスト：販売手数料率（税込）／5＋信託報酬率
※ リターン：過去5年間のトータルリターン（月次ベースを年率換算）

### 参考 コスト・リターン・リスク3か年推移

| | コスト | 前年比 | リターン | 前年比 | リスク | 前年比 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2025年3月末 | 1.83% | △0.04pt | 16.47% | +5.44pt | 14.67% | △2.43pt |
| 2024年3月末 | 1.87% | △0.12pt | 11.03% | +4.61pt | 17.10% | △0.13pt |
| 2023年3月末 | 1.99% | △0.03pt | 6.42% | ▲0.07pt | 17.23% | +1.45pt |

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

三井住友フィナンシャルグループ
2025年6月時点

## 15 16 投資信託の預り残高上位銘柄のコスト・リターン、リスク・リターン 共通KPI

信託

### 2025年3月末時点

| | ファンド名 | コスト | リスク | リターン |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型) | 2.20% | 15.70% | 16.04% |
| 2 | インデックスファンド225 | 0.79% | 15.62% | 15.00% |
| 3 | ドイチェ・インド株式ファンド | 2.64% | 16.81% | 25.40% |
| 4 | ブラックロック世界好配当株式オープン (愛称:世界の息吹) | 1.30% | 12.93% | 17.90% |
| 5 | グローバル高配当株式ファンド(奇数月分配型) | 2.10% | 13.13% | 21.80% |
| 6 | 世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型 | 1.71% | 8.39% | 9.60% |
| 7 | インデックスファンドNYダウ30(アメリカ株式) | 0.90% | 15.28% | 21.81% |
| 8 | netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース(為替ヘッジなし) | 2.75% | 22.53% | 22.45% |
| 9 | インデックスファンド Jリート(東証REIT指数)毎月分配型 | 0.94% | 10.90% | 4.76% |
| 10 | フィデリティ・日本成長株・ファンド | 2.34% | 13.84% | 12.85% |
| 11 | JPM ジャパンマイスター | 1.82% | 12.99% | 16.25% |
| 12 | GS 米国成長株集中投資ファンド 年4回決算コース | 2.67% | 20.18% | 17.78% |
| 13 | インデックスファンドTSP | 0.79% | 12.34% | 15.70% |
| 14 | DWS ブラジル・レアル債券ファンド(毎月分配型) | 2.25% | 16.27% | 8.05% |
| 15 | フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(毎月決算型)B(為替ヘッジなし) | 1.74% | 9.14% | 14.34% |
| 16 | 世界のサイフ | 1.41% | 8.41% | 9.13% |
| 17 | DWS グローバル公益債券ファンド(毎月分配型) Aコース(為替ヘッジあり) | 1.80% | 7.35% | ▲2.46% |
| 18 | ブラックロック・ゴールド・ファンド | 2.86% | 31.55% | 19.77% |
| 19 | スパークス・ジャパン・スモール・キャップ・ファンド 愛称 ライジング・サン | 2.53% | 14.15% | 10.31% |
| 20 | DWS グローバル公益債券ファンド(毎月分配型) Bコース(為替ヘッジなし) | 1.80% | 7.06% | 7.17% |
| | 残高加重平均値 | 1.83% | 14.67% | 16.47% |

### 2024年3月末時点

| | ファンド名 | コスト | リスク | リターン |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型) | 2.31% | 19.16% | 6.99% |
| 2 | インデックスファンド225 | 1.01% | 17.06% | 6.59% |
| 3 | 世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型 | 1.71% | 10.14% | 4.57% |
| 4 | ドイチェ・インド株式ファンド | 2.64% | 23.16% | 9.77% |
| 5 | グローバル高配当株式ファンド(毎月分配型)(愛称:軍配) | 2.10% | 16.07% | 13.11% |
| 6 | インデックスファンド Jリート | 1.05% | 15.01% | 4.09% |
| 7 | フィデリティ・日本成長株・ファンド | 2.34% | 17.65% | 3.99% |
| 8 | DWS ブラジル・レアル債券ファンド(毎月分配型) | 2.25% | 20.40% | ▲0.21% |
| 9 | GS 米国成長株集中投資ファンド 年4回決算コース | 2.67% | 20.41% | 10.82% |
| 10 | netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース(為替ヘッジなし) | 2.75% | 20.53% | 13.94% |
| 11 | インデックスファンドNYダウ30(アメリカ株式) | 1.12% | 18.21% | 12.17% |
| 12 | DWS グローバル公益債券ファンド(毎月分配型) Aコース(為替ヘッジあり) | 2.02% | 8.03% | ▲2.76% |
| 13 | 日興AM中国A株ファンド(愛称:黄河) | 2.97% | 23.24% | 1.25% |
| 14 | 世界のサイフ | 1.41% | 8.84% | 1.33% |
| 15 | インデックスファンドTSP | 1.01% | 15.08% | 4.62% |
| 16 | スパークス・ジャパン・スモール・キャップ・ファンド(愛称:ライジング・サン) | 2.53% | 17.73% | 1.40% |
| 17 | netWIN GSテクノロジー株式ファンド Aコース(為替ヘッジあり) | 2.75% | 21.18% | 6.42% |
| 18 | フィデリティ・日本小型株・ファンド | 2.45% | 17.46% | 0.92% |
| 19 | グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型) | 1.71% | 4.75% | 1.27% |
| 20 | UBSオーストラリア債券オープン (毎月分配型) | 1.54% | 9.64% | 1.70% |
| | 残高加重平均値 | 1.99% | 17.23% | 6.42% |

### 2023年3月末時点

| | ファンド名 | コスト | リスク | リターン |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型) | 2.31% | 19.16% | 6.99% |
| 2 | インデックスファンド225 | 1.01% | 17.06% | 6.59% |
| 3 | 世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型 | 1.71% | 10.14% | 4.57% |
| 4 | ドイチェ・インド株式ファンド | 2.64% | 23.16% | 9.77% |
| 5 | グローバル高配当株式ファンド(毎月分配型)(愛称:軍配) | 2.10% | 16.07% | 13.11% |
| 6 | インデックスファンド Jリート | 1.05% | 15.01% | 4.09% |
| 7 | フィデリティ・日本成長株・ファンド | 2.34% | 17.65% | 3.99% |
| 8 | DWS ブラジル・レアル債券ファンド(毎月分配型) | 2.25% | 20.40% | ▲0.21% |
| 9 | GS 米国成長株集中投資ファンド 年4回決算コース | 2.67% | 20.41% | 10.82% |
| 10 | netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース(為替ヘッジなし) | 2.75% | 20.53% | 13.94% |
| 11 | インデックスファンドNYダウ30(アメリカ株式) | 1.12% | 18.21% | 12.17% |
| 12 | DWS グローバル公益債券ファンド(毎月分配型) Aコース(為替ヘッジあり) | 2.02% | 8.03% | ▲2.76% |
| 13 | 日興AM中国A株ファンド(愛称:黄河) | 2.97% | 23.24% | 1.25% |
| 14 | 世界のサイフ | 1.41% | 8.84% | 1.33% |
| 15 | インデックスファンドTSP | 1.01% | 15.08% | 4.62% |
| 16 | スパークス・ジャパン・スモール・キャップ・ファンド(愛称:ライジング・サン) | 2.53% | 17.73% | 1.40% |
| 17 | netWIN GSテクノロジー株式ファンド Aコース(為替ヘッジあり) | 2.75% | 21.18% | 6.42% |
| 18 | フィデリティ・日本小型株・ファンド | 2.45% | 17.46% | 0.92% |
| 19 | グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型) | 1.71% | 4.75% | 1.27% |
| 20 | UBSオーストラリア債券オープン (毎月分配型) | 1.54% | 9.64% | 1.70% |
| | 残高加重平均値 | 1.99% | 17.23% | 6.42% |

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

三井住友フィナンシャルグループ

2025年6月時点

## 17 18 外貨建保険の運用評価別顧客比率、銘柄別コスト・リターン 共通KPI

- 2022年1月に金融庁より公表された「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて」の中で定義された指標の検証結果。

【共通KPI】

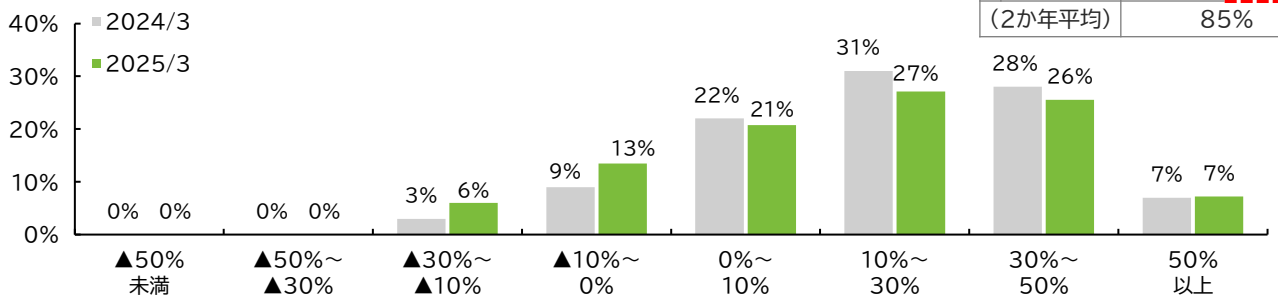
- ✓ 各時点で解約済みの契約、年金の支払いが開始している年金契約（据置期間の契約も含む）は含まず
- ✓ 運用損益比率＝{（基準日時点の解約返戻金額＋基準日時点の既支払金額）－契約時点の一時払保険料（いずれも円換算）}／契約時点の一時払保険料（円換算）

### 運用評価別顧客比率

※運用損益別顧客比率「0%」表記には、1%未満を含む（小数点以下は四捨五入）。

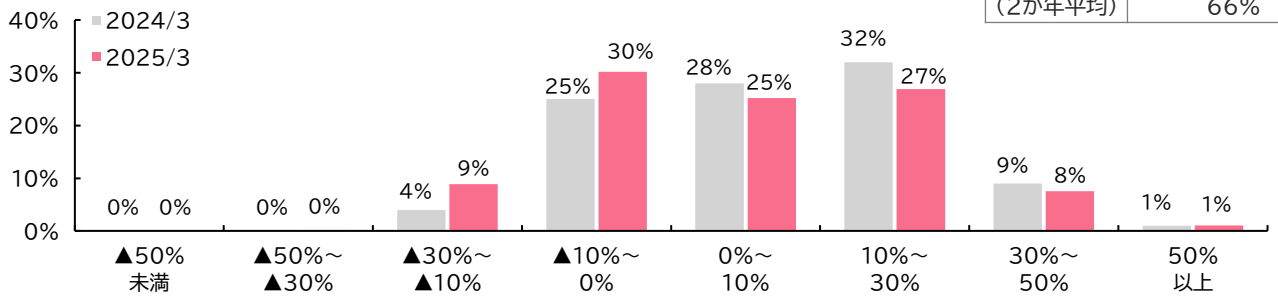
**銀行**

| プラス顧客 | 2024年 | 2025年 |
|---|---|---|
| 3月末時点 | 88% | 81% |
| 前年比 | +25pt | ▲7pt |
| （2か年平均） | 85% | |



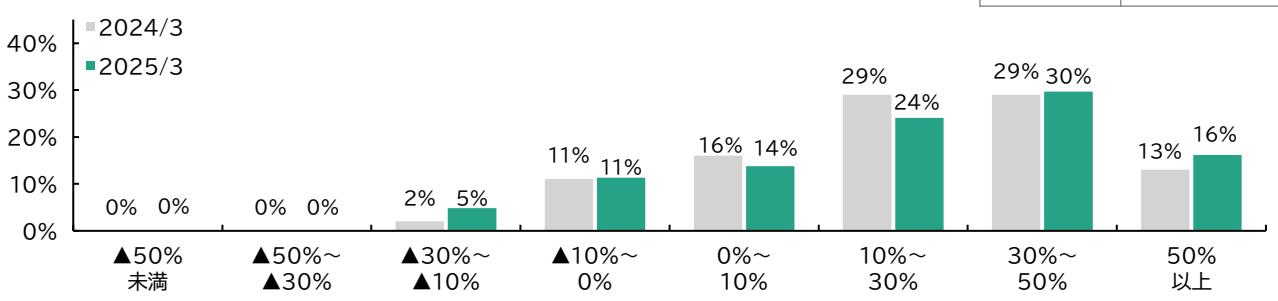

**日興**

| プラス顧客 | 2024年 | 2025年 |
|---|---|---|
| 3月末時点 | 70% | 61% |
| 前年比 | +20pt | ▲9pt |
| （2か年平均） | 66% | |




**信託**

| プラス顧客 | 2024年 | 2025年 |
|---|---|---|
| 3月末時点 | 87% | 84% |
| 前年比 | +9pt | ▲3pt |
| （2か年平均） | 86% | |



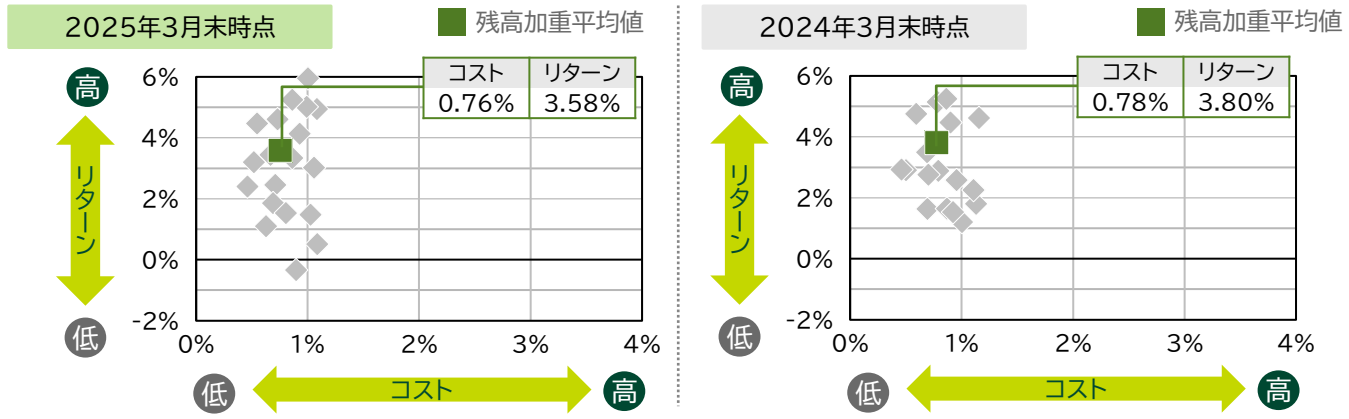

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

三井住友フィナンシャルグループ
2025年6月時点

## 17 18 外貨建保険の運用評価別顧客比率、銘柄別コスト・リターン 共通KPI

銀行

### 銘柄別コスト・リターン




※ 2024年3月末時点で、保険契約開始から5年超の銘柄のみ
※ コスト:①各契約のコスト率について、保険会社が支払う代理店手数料のうち、　新契約手数料率を基準日までの契約期間で除したものと年間の継続手数料率を使用することで算出した上で、②各契約のコスト率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均したもの
※ リターン:①各契約のリターン率について、(基準日時点の解約返戻金額＋同既支払金額）÷（契約時点の一時払保険料）－1　を年率に換算した上で、②各契約のリターン率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均したもの

### 残高上位銘柄

**2025年3月末時点**

| | 銘柄名 | コスト | リターン |
|---|---|---|---|
| 1 | 笑顔の約束 | 0.73% | 4.61% |
| 2 | 幸せの贈りもの(米／豪) | 0.67% | 3.44% |
| 3 | ビーエルガーデンⅡ | 0.93% | 4.13% |
| 4 | ビーエルスマイル ドル | 0.55% | 4.46% |
| 5 | ビーエルガーデン | 0.46% | 2.40% |
| 6 | ビーエルスマイルⅡ(保障重視コース) | 1.09% | 0.51% |
| 7 | プライムハート | 0.71% | 2.45% |
| 8 | ガーデン ザ ギフト | 1.08% | 4.94% |
| 9 | BroadwayWorldⅢ | 0.99% | 5.02% |
| 10 | わたしの記念日 | 0.69% | 1.85% |
| 11 | プライムチャンス | 0.90% | -0.34% |
| 12 | ビーエルクローバー | 0.52% | 3.20% |
| 13 | ビーエルスマイル 豪ドル | 0.63% | 1.10% |
| 14 | たのしみステップ | 0.78% | 6.69% |
| 15 | ピースフルロード゛米ドル | 0.81% | 1.53% |
| 16 | 賢者の年金(米ドル) | 0.86% | 3.34% |
| 17 | 100年時代の終身保険 | 1.05% | 6.22% |
| 18 | キャッチポイントV | 1.16% | 4.62% |
| 19 | 笑顔の約束Ⅱ | 0.93% | 1.53% |
| 20 | 一生涯受け取れる　人生応援年金(米／豪) | 0.86% | 5.24% |
| | 残高加重平均値 | 0.76% | 3.58% |

**2024年3月末時点**

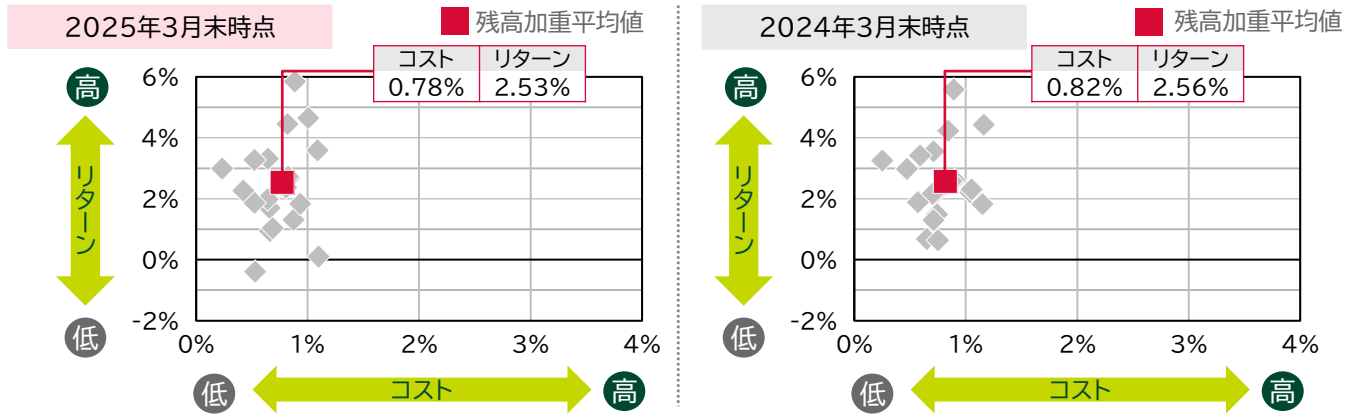
| | 銘柄名 | コスト | リターン |
|---|---|---|---|
| 1 | ビーエルスマイルドル | 0.60% | 4.75% |
| 2 | 笑顔の約束 | 0.79% | 5.14% |
| 3 | ビーエルガーデンⅡ | 0.90% | 4.46% |
| 4 | 幸せの贈りもの(米／豪) | 0.69% | 3.49% |
| 5 | ビーエルガーデン | 0.50% | 2.90% |
| 6 | プライムハート | 0.79% | 2.88% |
| 7 | プライムチャンス | 1.00% | 1.20% |
| 8 | ビーエルスマイルⅡ(保障重視コース) | 1.13% | 1.80% |
| 9 | BroadwayWorldⅢ | 1.04% | 6.08% |
| 10 | ダブル・フロンティア | 0.95% | 2.58% |
| 11 | ビーエルクローバー | 0.46% | 2.93% |
| 12 | わたしの記念日 | 0.70% | 2.76% |
| 13 | ビーエルスマイル豪ドル | 0.69% | 1.63% |
| 14 | たのしみステップ | 0.86% | 7.77% |
| 15 | ピースフルロード米ドル | 0.87% | 1.64% |
| 16 | キャッチポイントV | 1.11% | 2.25% |
| 17 | ガーデン　ザ　ギフト | 1.05% | 6.22% |
| 18 | 一生涯受け取れる　人生応援年金(米／豪) | 1.16% | 4.62% |
| 19 | ダブルフロンティア終身(米／豪) | 0.93% | 1.53% |
| 20 | 賢者の年金(米ドル) | 0.86% | 5.24% |
| | 残高加重平均値 | 0.78% | 3.80% |

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

## 17 18 外貨建保険の運用評価別顧客比率、銘柄別コスト・リターン 共通KPI

日興

### 銘柄別コスト・リターン




※ 2024年3月末時点で、保険契約開始から5年超の銘柄のみ
※ コスト:①各契約のコスト率について、保険会社が支払う代理店手数料のうち、　新契約手数料率を基準日までの契約期間で除したものと年間の継続手数料率を使用することで算出した上で、②各契約のコスト率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均したもの
※ リターン:①各契約のリターン率について、(基準日時点の解約返戻金額＋同既支払金額）÷（契約時点の一時払保険料）－1　を年率に換算した上で、②各契約のリターン率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均したもの

### 残高上位銘柄

**2025年3月末時点**

| | 銘柄名 | コスト | リターン |
|---|---|---|---|
| 1 | 幸せの贈りもの | 0.66% | 1.69% |
| 2 | 笑顔の約束 | 0.82% | 4.45% |
| 3 | ビー　ウィズ　ユー　プラス | 1.10% | 0.10% |
| 4 | たのしみステップ | 0.89% | 5.84% |
| 5 | プレミアベスト | 0.87% | 1.30% |
| 6 | ロングドリームGOLD | 0.83% | 2.67% |
| 7 | ビーウィズユー(USドル建) | 0.64% | 3.31% |
| 8 | 積立利率金利連動型年金(米ドル建)年金額確定特約付 | 0.81% | 2.37% |
| 9 | ビーウィズユー(豪ドル建) | 0.66% | 0.94% |
| 10 | ダブル・フロンティア | 0.83% | 2.73% |
| 11 | ダブル・フロンティア終身(米ﾄﾞﾙ建/豪ﾄﾞﾙ建) | 0.69% | 1.04% |
| 12 | プレミアレシーブ(外貨建) | 1.01% | 4.64% |
| 13 | しあわせ、ずっと | 0.64% | 1.98% |
| 14 | 人生応援年金 | 1.09% | 3.58% |
| 15 | 積立利率金利連動型年金(豪ドル建) | 0.53% | -0.39% |
| 16 | ロングドリームプラス | 0.52% | 3.27% |
| 17 | しあわせ、ずっとNZ | 0.93% | 1.83% |
| 18 | アテナ | 0.23% | 2.99% |
| 19 | みらい、そだてる | 0.52% | 1.87% |
| 20 | アテナ2 | 0.42% | 2.27% |
| | 残高加重平均値 | 0.78% | 2.53% |

**2024年3月末時点**

| | 銘柄名 | コスト | リターン |
|---|---|---|---|
| 1 | 幸せの贈りもの | 0.65% | 0.67% |
| 2 | 笑顔の約束 | 0.89% | 5.58% |
| 3 | 幸せの贈りもの | 0.73% | 2.19% |
| 4 | ビー　ウィズ　ユー　プラス | 1.15% | 1.82% |
| 5 | ダブル・フロンティア | 0.90% | 2.61% |
| 6 | ビーウィズユー(USドル建) | 0.71% | 3.55% |
| 7 | プレミアベスト | 1.04% | 2.21% |
| 8 | ロングドリームGOLD | 0.87% | 2.58% |
| 9 | ビーウィズユー(豪ドル建) | 0.74% | 1.48% |
| 10 | 積立利率金利連動型年金(米ドル建)年金額確定特約付 | 0.84% | 4.23% |
| 11 | ダブル・フロンティア終身(米ドル建/豪ドル建) | 0.71% | 1.30% |
| 12 | しあわせ、ずっと | 0.70% | 2.16% |
| 13 | たのしみステップ | 1.01% | 7.97% |
| 14 | 積立利率金利連動型年金(豪ドル | 0.75% | 0.63% |
| 15 | ロングドリームプラス | 0.59% | 3.42% |
| 16 | 人生応援年金 | 1.16% | 4.42% |
| 17 | しあわせ、ずっとNZ | 1.05% | 2.30% |
| 18 | アテナ | 0.25% | 3.25% |
| 19 | みらい、そだてる | 0.57% | 1.88% |
| 20 | アテナ2 | 0.47% | 2.98% |
| | 残高加重平均値 | 0.82% | 2.56% |

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

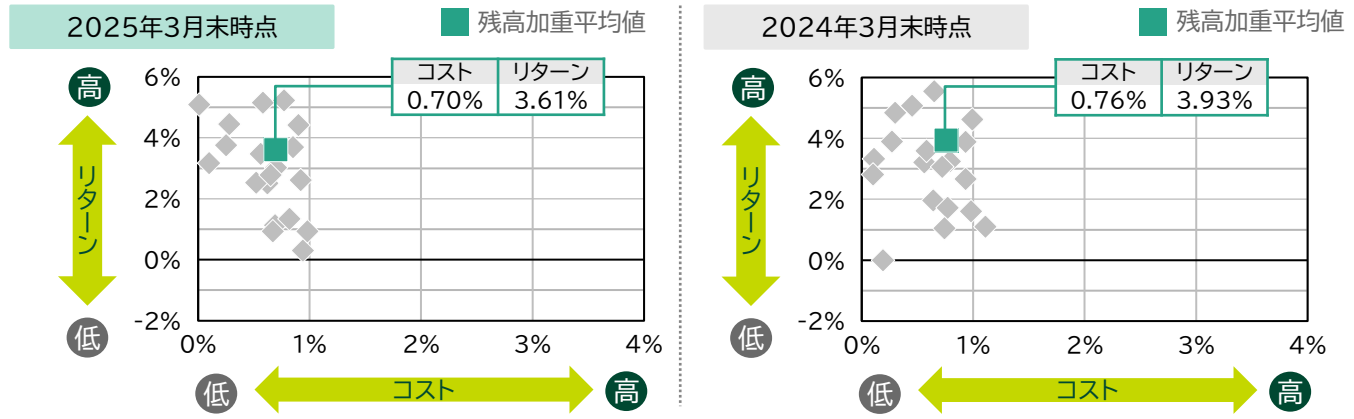
三井住友フィナンシャルグループ
2025年6月時点

## 17 18 外貨建保険の運用評価別顧客比率、銘柄別コスト・リターン

共通KPI

信託

### 銘柄別コスト・リターン




※ 2025年3月末時点で、保険契約開始から5年超の銘柄のみ
※ コスト：①各契約のコスト率について、保険会社が支払う代理店手数料のうち、　　新契約手数料率を基準日までの契約期間で除したものと年間の継続手数料率を使用することで算出した上で、②各契約のコスト率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均したもの
※ リターン：①各契約のリターン率について、（基準日時点の解約返戻金額＋同既支払金額）÷（契約時点の一時払保険料）－1　を年率に換算した上で、②各契約のリターン率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均したもの

### 残高上位銘柄

**2025年3月末時点**

| | 銘柄名 | コスト | リターン |
|---|---|---|---|
| 1 | サニーガーデンEX | 0.90% | 4.41% |
| 2 | ライフロング・セレクトPG3 | 0.70% | 3.02% |
| 3 | モンターニュ | 0.25% | 3.75% |
| 4 | グローイングライフ | 0.85% | 3.69% |
| 5 | 幸せの贈りもの | 0.62% | 2.50% |
| 6 | ビー　ウィズ　ユー　プラス | 0.94% | 0.30% |
| 7 | ライフロング・セレクトPG2 | 0.28% | 4.45% |
| 8 | サニーガーデン | 0.52% | 2.52% |
| 9 | ビーウィズユー（USドル建） | 0.65% | 2.78% |
| 10 | 三大陸 | 0.58% | 5.15% |
| 11 | 笑顔の約束 | 0.01% | 5.09% |
| 12 | ビーウィズユー（豪ドル建） | 0.69% | 1.13% |
| 13 | シリウスデュアル | 0.10% | 3.16% |
| 14 | ブルーミング　ライフ | 0.98% | 0.93% |
| 15 | 笑顔の約束Ⅱ | 0.92% | 2.61% |
| 16 | プレミアベスト | 0.82% | 1.34% |
| 17 | マスミューチュアル終身プラス | 0.67% | 0.93% |
| 18 | 一時払い養老保険 | 0.77% | 5.22% |
| 19 | PGターゲット2 | 0.56% | 3.47% |
| 20 | 人生応援年金 | 1.23% | -8.54% |
| | 残高加重平均値 | 0.70% | 3.61% |

**2024年3月末時点**

| | 銘柄名 | コスト | リターン |
|---|---|---|---|
| 1 | サニーガーデンEX | 0.99% | 4.62% |
| 2 | ライフロング・セレクトPG3 | 0.79% | 3.24% |
| 3 | グローイングライフ | 0.93% | 3.88% |
| 4 | モンターニュ | 0.27% | 3.89% |
| 5 | ライフロング・セレクトPG2 | 0.30% | 4.84% |
| 6 | サニーガーデン | 0.56% | 3.21% |
| 7 | ビー　ウィズ　ユー　プラス | 0.98% | 1.60% |
| 8 | ビーウィズユー（USドル建） | 0.72% | 3.07% |
| 9 | 幸せの贈りもの | 0.64% | 1.96% |
| 10 | 三大陸 | 0.65% | 5.54% |
| 11 | 笑顔の約束 | 0.01% | 6.20% |
| 12 | ビーウィズユー（豪ドル建） | 0.77% | 1.72% |
| 13 | シリウスデュアル | 0.11% | 3.33% |
| 14 | ブルーミング　ライフ | 1.11% | 1.10% |
| 15 | プレミアベスト | 0.93% | 2.67% |
| 16 | マスミューチュアル終身プラス | 0.74% | 1.05% |
| 17 | PGターゲット2 | 0.58% | 3.59% |
| 18 | シリウスハーモニー | 0.19% | 0.00% |
| 19 | モンターニュ2 | 0.45% | 5.07% |
| 20 | シリウスプラス | 0.10% | 2.81% |
| | 残高加重平均値 | 0.76% | 3.93% |

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

## 参考 保険商品に関する管理プロセス

### 銀行

| | | |
|---|---|---|
| 導入時 | 随時 | • 想定したお客さまの特性やニーズに対する当該商品の適切性や、商品の内包するリスクの検証等を保険会社ならびにグループ各社と協議。年金額・保証額等に影響のある運用戦略を組み込んだ商品については、運用戦略の内容や実績について精査を実施。 |
| 運用開始後 | 導入後半年 | • 導入時に想定したお客さまの特性やニーズに対し、適切に販売されているかの検証。また、年金額・保証額等に影響のある運用戦略を組み込んだ商品については、導入後のパフォーマンスや運用戦略が適切に履行されているかを検証。 |
| | 年次 | • 商品見直しの抽出基準に沿って、定性・定量の両面で検証を実施。 |

### 日興

| | | |
|---|---|---|
| 導入時 | 随時 | • 想定したお客さまの特性やニーズに対する当該商品の適切性や、商品の内包するリスクの検証等を保険会社ならびにグループ各社と協議。年金額・保証額等に影響のある運用戦略を組み込んだ商品については、運用戦略の内容や実績について精査を実施。 |
| 運用開始後 | 通年 | • 導入時に想定したお客さまの特性やニーズに対し、適切に販売されているかの検証。また、年金額・保証額等に影響のある運用戦略を組み込んだ商品については、導入後のパフォーマンスや運用戦略が適切に履行されているかを検証。<br>• 取扱商品について、定性・定量の両面から検証を実施。 |

### 信託

| | | |
|---|---|---|
| 導入時 | 随時 | • 保険会社との個別協議および保険会社提供の商品情報、ならびにグループ各社との協議を踏まえ、保障・贈与・年金・相続ニーズの観点から選定。<br>• 市場性のある商品については、運用戦略の内容や実績について精査を実施。 |
| 運用開始後 | 導入後半年 | • 導入時の想定コスト対比リターンについて、その適切性を検証。<br>• 導入時の想定リスク(市場影響のある解約返戻率)対比リターン(積立利率や運用成果)について、その適切性を検証。 |
| | 年次 | • 保険会社年次レビューの実施 |

## 参考 各種商品の取扱状況

銀行 日興 信託

### 仕組債の取扱いについて

銀行は2022年7月、信託は2023年2月末に仕組債の販売を全面停止。日興でも2023年10月から新しい運営方針を策定し、全ての複雑な仕組債について能動的なご提案は行わないこととしております。

### ターゲット型保険の取扱いについて

銀行・日興・信託ではターゲット型保険の販売を停止しています。

銀行

### 仕組預金の取扱いについて

銀行は2023年5月に原則全てのお客さまへの勧誘を不可としており、現在は取扱いを停止しております。

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.


2025年6月時点

# 取組方針 2 お客さま本位の商品ラインアップの整備

## ● 手数料に関する考え方・説明

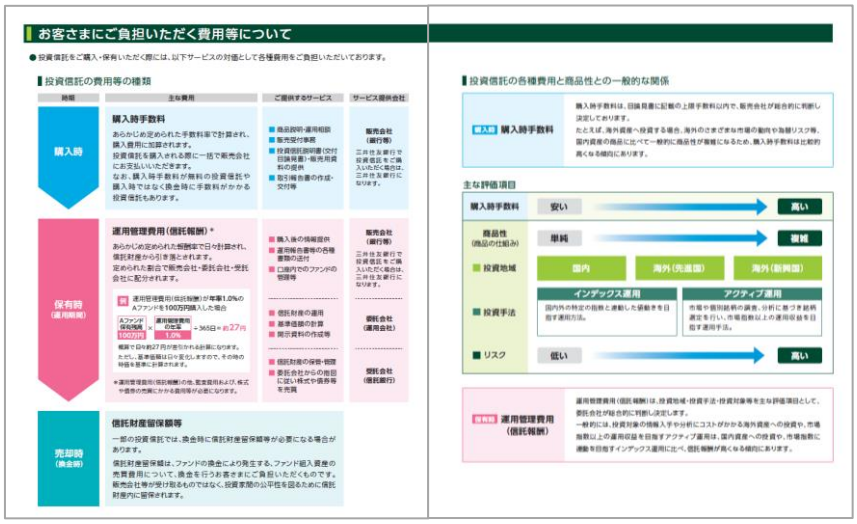
- 金融商品の販売にあたり、金融商品の対価とは別に手数料をいただく場合があります。また、保険商品のように、お客さまにご負担いただく費用とは別に、金融商品の提供会社から販売代理店手数料等を受け取る場合があります。
- こうした手数料は、例えば、金融商品・サービスのご提供にあたって必要となる、商品の開発・選定・品質維持のための調査、提案資料・各種報告書・相場情報資料等の作成とそれをご提供するためのシステム維持・開発、フォローアップまで含めたコンサルティングサービスのご提供、インターネットや郵送によるサービス等の費用全般を総合的に勘案して設定しております。
- 各種合理化・効率化によるコスト抑制に努めつつ、ご負担いただく手数料対比、お客さまに最高の満足をご提供できるよう、お客さまへのサービスの品質向上に努めております。
- SMBCグループ各社では、金融商品のご提供に際して、契約締結前交付書面・目論見書・重要情報シート等を用いた、分かりやすいご説明に努めております。

## 参考 手数料開示に関する取組

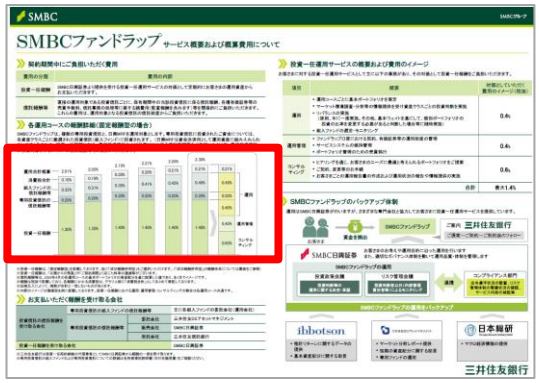
### 銀行

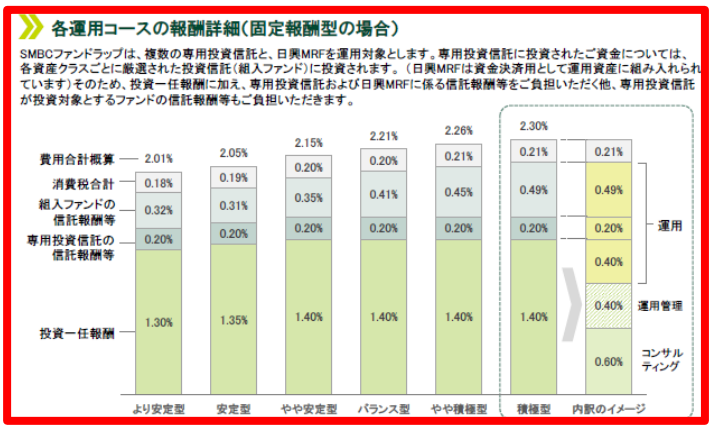
- 金融商品・サービスのご提供に際し、各種ツールを用いて、手数料を分かりやすくご説明しております。
- お客さまの最善の利益を追求する生命保険の販売を推進する観点から、販売に際して保険会社から受領する代理店手数料について、お客さま視点での手数料体系に見直しをしております。

＜投資信託＞




＜SMBCファンドラップ＞




Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

三井住友フィナンシャルグループ
2025年6月時点

## ● 手数料に関する考え方・説明

参考 **手数料開示に関する取組**

日興

- 商品・サービスのご提供に際しては、手数料・費用を分かりやすくご説明しております。
- また、SMBC日興証券では、2023年7月より一般投資家を対象に、取り扱う全仕組債の組成に係る費用の開示を開始しております。

＜例：日興ファンドラップの投資一任報酬＞

**「日興ファンドラップ投資一任報酬」**

お客さまには、投資一任契約に基づく当社の投資判断および投資一任運用の対価として、当社に対し日興ファンドラップ投資一任報酬（以下、「投資一任報酬」といいます。）を運用資産からお支払いただきます。個別契約※1毎に適用される投資一任報酬の体系は、次の2種類あります。なお、「エドモンド・ロスチャイルド・セレクション」のお客さまは、「固定報酬型」のみご利用となります（詳しくは「日興ファンドラップにおける契約締結前交付書面」（法人のお客さまは「法人用」とお読み替えください。）をご覧ください）。

①「固定報酬型」：基本報酬のみから構成される報酬体系をいい、個別契約の時価評価額に応じて、年率1.320%（消費税込）を上限とする基本報酬額を、原則として四半期毎にお客さまの運用資産からお支払いただきます。

②「成功報酬併用型」：基本報酬に成功報酬を加えた報酬体系です。個別契約の時価評価額に応じて、年率1.188%（消費税込）を上限とする基本報酬額を、原則として四半期毎にお客さまの運用資産からお支払いただくことに加え、原則として1年間の運用により一定以上の利益が出た場合に、その利益に対して11.0%（消費税込）の成功報酬額を、お客さまの運用資産からお支払いただきます。

※1「個別契約」：当社とお客さまとの間で締結した、契約金額、基本ポートフォリオ※2の種類、その基本ウェイト※3や変動範囲、運用開始日など、個別ポートフォリオの投資一任運用において必要な事項全般を指します。

※2「基本ポートフォリオ」：基本ウェイトで構成される、お客さまが個別契約にて選択するポートフォリオをいいます。

※3「基本ウェイト」：個別契約における資産区分の間での配分比率の目標値をいいます。

**基本報酬**

| 計算期間中における時価評価額の平均残高 | 固定報酬型 基本報酬率（年率・消費税込） RU1・RM1・安定 | 固定報酬型 基本報酬率（年率・消費税込） 左記以外のモデル | 成功報酬併用型 基本報酬率（年率・消費税込） RU1・RM1・安定 | 成功報酬併用型 基本報酬率（年率・消費税込） 左記以外のモデル |
|---|---|---|---|---|
| 5,000万円以下の部分につき | 1.1000% | 1.3200% | 0.9900% | 1.1880% |
| 5,000万円超～1億円以下の部分につき | 0.8800% | 1.0450% | 0.7920% | 0.9405% |
| 1億円超～3億円以下の部分につき | 0.6600% | 0.7700% | 0.5940% | 0.6930% |
| 3億円超～5億円以下の部分につき | 0.4400% | 0.4950% | 0.3960% | 0.4455% |
| 5億円超～10億円以下の部分につき | 0.3300% | 0.3575% | 0.2970% | 0.3223% |
| 10億円超の部分につき | 0.2200% | 0.2200% | 0.1980% | 0.1980% |

RU1：標準モデル「投資制限無しRU1」「オルタナのみ除くRU1」
RM1：標準モデル「投資制限無しRM1」「オルタナのみ除くRM1」
安定：セレクトモデル「安定」「安定 除く新興国株・債」「安定 除くヘッジファンド」および「安定 為替ヘッジ有」「安定 除く新興国株・債 為替ヘッジ有」「安定 除くヘッジファンド 為替ヘッジ有」

**成功報酬**

▶成功報酬は「成功報酬併用型」をご選択の場合のみお支払いいただく場合があります。

▶「固定報酬型」をご選択の場合はお支払いいただきません。

| 計算期間最終日における基本報酬額控除後の時価評価額がHWM※を超過した額 | 成功報酬率（消費税込） |
|---|---|
| 超過部分に対し一律 | 11.0% |

※HWM（ハイウォーターマーク）とは、成功報酬を計算するための基準となる金額のことです。

＜仕組債の組成に係る費用の開示＞

| | |
|---|---|
| 費用等について | 本仕組債は、お客さまと当社との相対取引によりご購入いただきますので、購入対価のみお支払いいただきます。<br>ただし、この購入対価には、お客さまが実質的に負担する組成、発行、ヘッジ、販売等に係る以下の費用等が含まれています。<br>2024 年 6 月 14 日時点における本仕組債の価格の理論値（理論価格）（※）は額面あたり【98.04%】です。価格の理論値（理論価格）と購入価格の差がお客さまに実質的にご負担いただく費用等となります。<br><br>費用等の内訳は以下の通りです。<br>・当社にとっての販売役務の対価相当額<br>販売役務の対価相当額には、販売に係る諸経費やアフターフォローの対価等が含まれています。販売役務の対価相当額は額面あたり4.00%以下となります。<br><br>・本仕組債の組成に係る費用等<br>本仕組債の組成に係る費用には、本仕組債に組み込まれているデリバティブの期中管理費用等が含まれています。<br><br>理論価格は、組成会社において算出した理論値であり、算出にあたり組成、発行、ヘッジ、販売等に係るコストを考慮していないため、購入対価より低い価格になります。 |

※ 組成会社のシステムおよび市場データ等により試算された理論値です。この理論値は、マーケット等の変動により、随時変動します。
当社はその正確性および完全性について保証するものではありません。また、他社が提示する理論値とは異なる場合があります。
実際にお取引頂く条件は本理論値を基準として決定されるものではなく、本理論値による売買取引を保証するものではありません。
また、当社がお知らせする時価とは異なります。

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

三井住友フィナンシャルグループ
2025年6月時点

## ● 手数料に関する考え方・説明

### 参考 手数料開示に関する取組

信託

- 投資信託に関する各種手数料に関しては、投資信託説明資料に詳細をお示ししております。
- 保険商品に関する各種手数料に関しては、商品概要書に詳細をお示ししております。

<投資信託説明資料>

お客さまにご負担いただく費用などについて

投資信託では、購入時手数料や信託報酬・管理報酬など各種手数料をご負担いただいております。手数料などは投資信託ごとに異なりますので、契約締結前交付書面（交付目論見書および補完書面）で必ず確認しましょう。

手数料の種類

| 時期 | 投資信託をご購入される時 | 投資信託を保有されている期間（運用期間） | 投資信託を売却（換金）される時 |
|---|---|---|---|
| 主な手数料 | 購入時手数料（販売手数料/申込手数料） | 運用管理費用（信託報酬） | 信託財産留保額 |
| お支払方法など | ・投資信託を購入する際の費用として、販売会社に支払います。<br>・購入時手数料が無料（ノーロード）のものもあります。 | ・運用や資産の管理などに対してかかる費用として、販売会社、運用会社、受託会社（信託銀行）に支払います。<br>・あらかじめ定められた報酬率で日々計算され、信託財産から差し引かれます。 | ・投資信託の売却（換金）などにかかる費用として支払います。<br>・ファンドの換金などによりファンドに組み入れられる株式や債券などを購入・売却する際の費用について、そのコストを売却者に負担してもらうことで、投資家間の公平性を図ることを目的としております。<br>・信託財産留保額のかからない投資信託もあります。 |

※上記の他、「組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料」、「監査費用」などを保有期間に応じてご負担いただく場合があります。
※上記の例は一般的なものであり、契約締結前交付書面（交付目論見書および補完書面）をご確認ください。
※投資信託の収益分配時や換金・償還時に、所得税（復興特別所得税含む）および住民税が課税される場合があります。外国籍投資信託の税金は基本的には国内の投資信託と同じですが、外国においてすでに税金が徴収されている場合の調整や、日本国内での税計算上適用される為替レートなど、外国証券特有の問題も留意する必要があります。税金の取扱いの詳細については、お近くの税務署または税務専門家（税理士など）にご照会されることをおすすめします。

手数料と商品性との一般的な関係

❶購入時手数料
購入時手数料は、目論見書に記載の上限手数料以下の水準で、販売会社が総合的に判断し決定しております。
購入時手数料は各ファンドごとに異なるため、手数料の詳細については契約締結前交付書面（交付目論見書および補完書面）でご確認ください。

❷運用管理費用（信託報酬）
運用管理費用（信託報酬）は、投資地域・投資手法・投資対象などを主な評価項目として、委託会社（運用会社）が総合的に判断し、決定いたします。

運用管理費用（信託報酬）　低 ⇔ 高

（主な評価項目）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 投資地域 | 国内 | 海外（先進国）海外（新興国） | 現地での調査・管理などが必要となる海外資産への投資は、国内資産への投資にくらべて、運用管理費用が高くなります。 |
| 投資手法 | インデックス運用など | アクティブ運用など | 投資対象を詳細に調査・分析する必要があるアクティブ運用（市場指数以上の運用収益を目指す運用）は、インデックス運用（定められた市場指数の運動を目指す運用）にくらべて、運用管理費用が高くなります。 |
| 投資対象 | 債券 単一資産 | 株式 複数資産 | 情報入手や調査、分析、リスク管理などが必要となる株式や複数資産への投資は、債券や単一資産にくらべて、運用管理費用が高くなります。 |
| 運用形態 | ファミリー・ファンド方式 | ファンド・オブ・ファンズ方式 | ファンド・オブ・ファンズ方式では、ファンドマネージャーが選択する複数の投資信託のそれぞれにおいて運用報酬や管理費用が発生するため、資金をまとめて運用しているファミリー・ファンド方式にくらべて、運用管理費用が高くなります。 |

※本資料は、お客さまへの当行で取扱う投資信託における主な提供サービスとお客さまが負担する費用および当行販売会社として受取る手数料の基本的な考え方をご案内するものであり、当行が取扱うすべての投資信託の購入時手数料や信託報酬の具体的な料率を定めるものではありません。
※上記については一般的な例示となりますので、必ずしも当てはまらない場合があります。

手数料とご提供する主なサービス

| | 手数料種別 | サービス提供会社 | ご提供する主なサービス |
|---|---|---|---|
| 購入時 | 購入時手数料（販売手数料/申込手数料） | 販売会社 | ●商品説明、運用相談など<br>●販売受付事務<br>●契約締結前交付書面（交付目論見書および補完書面）・販売用資料の提供<br>●取引報告書の作成・交付 |
| 保有時 | 運用管理費用（信託報酬） | 販売会社 | ●購入後の情報提供<br>●運用報告などの各種書類の送付<br>●口座内でのファンドの管理（換金代金、分配金のお支払、徴税関連事務など） |
| | | 委託会社（運用会社） | ●信託財産の運用<br>●基準価額の計算<br>●開示資料の作成（目論見書、運用報告書、各種レポートなど） |
| | | 受託会社（信託銀行） | ●信託財産の管理<br>●委託会社からの指図に従って運用を実行 |

投資信託の運営と各サービス提供会社の役割



※上記については一般的な例示となりますので、必ずしも当てはまらない場合があります。

【投資信託に関する注意事項】
お取引にあたっては、最新の投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面を必ずご覧ください。これらは当行の店頭等にご用意しています。
●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。また、当行で取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。●投資信託は、元本・利回りの保証はありません。●投資信託は、組入れた国内外の株式や債券等投資対象の価格変動、投資対象の通貨が投資信託の表示通貨と異なる場合や外貨建て投資信託を円換算する場合の外国為替相場の変動、およびその他のリスクにより、投資元本を下回ることがあります。これらのリスクおよび損益は、お客さまご自身のご負担となります。●ファンドの購入・換金にあたっては各種手数料等（申込手数料、信託財産留保額等）がかかります。また、別途、信託・管理報酬、その他費用（監査報酬、信託事務諸費用、成功報酬等）を毎年、信託財産を通じてご負担いただきます。お客さまにご負担いただく手数料はこれらの合計額となりますが、これら手数料等はファンド、運用状況、保有期間等により異なるため、具体的な金額・計算方法を記載することができません。各ファンドの手数料等の詳細は、投資信託説明書（交付目論見書）および補完書面でご確認ください。●投資信託の購入、換金にあたって円貨と外貨とを交換する場合は、別途、為替手数料が片道1円/住復2円（上限）かかります。●米国税法上の米国人（米国市民・米国居住者またはグリーンカード保有者）は、居住・非居住にかかわらず投資信託の取引申込みができません。また、非居住者およびSMBC信託銀行への届出住所が日本国外のお客さまについても同様となります。
商 号 等：株式会社SMBC信託銀行　登録金融機関：関東財務局長（登金）第653号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会
◎ご紹介している商品・サービスは、SMBC信託銀行でお取扱いしています。
◎ご紹介している商品・サービスは、当行の総合的判断により、お客さまに販売・提供できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お問合せは、店頭またはプレスティアホン インベストメントへ。
0120-322-522 | インターネットから https://www.smbctb.co.jp/investment/mutualfunds/

2023年3月現在
PRO-MF0030WP2303

<例：メットライフ生命取扱い一時払い終身保険>

**ご負担いただく費用について**

• 当保険にかかる費用は、以下の費用の合計額となります。

**契約時・保険期間中にご負担いただく費用**

| 項目 | | 費用 | ご負担いただく時期 |
|---|---|---|---|
| 保険関係費用 | 死亡保障および保険契約の締結・維持にかかる費用（＊） | 最大1.05% | 積立利率を決定する際に、所定の期間における指標金利の平均値に1.0%を増減させた範囲内でメットライフ生命が定めた利率から差し引きます。 |

**● 販売手数料について**

一時払保険料の額に下記の支払率を乗じた金額が、1年あたりの販売手数料として引受保険会社から募集代理店に対して支払われます。
なお、販売手数料は、上記 **ご負担いただく費用について** に追加してお客さまにご負担いただくものではありません。

| 支払率 | 被保険者の契約年齢 | 0歳～満74歳 | | 満75歳～満80歳 | | 満81歳～満85歳 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 定期支払コース | 積立金増加コース | 定期支払コース | 積立金増加コース | 定期支払コース | 積立金増加コース |
| | 初年度 | 3.00% | 2.90% | 2.30% | | 1.50% | |
| | 次年度以降(支払期間：9年) | 0.40% | 0.34% | 0.24% | | 0.16% | |

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

三井住友フィナンシャルグループ
2025年6月時点

## 分かりやすい情報提供

銀行 日興 信託

- グループ一体となってユニバーサルデザインを推進するために、セミナー開催や外部資格取得、ユニバーサルデザインに配慮したお客さま向け資料の作成等に取り組んでおり、一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会（以下、UCDA）が主催する「UCDAアワード」において、2024年度、銀行が6年連続UCDAアワード（最優秀賞）及び「総合賞（ゴールド）」を受賞。また、日興では2021年度、「総合賞（ブロンズ）」を受賞しています。

銀行

- お客さま本位の業務運営の実践の一つとして、お客さまが各商品・サービスについて分かりやすく、正しい情報を理解できるようユニバーサルデザインに配慮した資料の作成に努めております。
- その一つとして、UCDA主催「UCDAアワード2024」において、6年連続最優秀賞（UCDAアワード）を受賞。また、企業の1年間のUCD活動が高く評価され「総合賞（ゴールド）」を受賞しています。
- このほか、当行で取り扱いしているラインアップをご案内する『総合商品ラインアップ』や、制度を活用した資産形成の情報提供資料『知らないと損？！税制を活用した資産形成』では、資料改訂後も「伝わるデザイン認証」を取得し、「分かりやすく」伝えることに継続して努めています。
- 今後もお客さまがご自身のニーズに見合った金融商品・サービスを適切に選択し、最適なポートフォリオを構築できるよう、分かりやすい・伝わりやすい資料づくりに取り組んでまいります。

受賞パンフレット

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

三井住友フィナンシャルグループ
2025年6月時点

## 分かりやすい情報提供

日興

- 国内外の投資環境や注目の投資テーマなどのマーケット情報、商品に関する分かりやすい動画や資料を当社ホームページや営業担当者のiPadで閲覧いただける環境を整備しており、より納得感のあるご提案をさせていただけるよう努めております。

＜動画による情報提供＞

- 当社では、日々刻々と動くマーケット状況をタイムリーに捉えた投資情報部によるネットセミナーのほか、当社在籍の人気アナリストによる動画等の情報提供を行っております。
- また、NISA活用や相続など、幅広いテーマのセミナーも開催しております。

信託

- 当行の旗艦セレクションである、「フラッグシップシリーズ」を通じて、長期・分散投資の意義をご説明しております。

＜世界標準の投資戦略-PRESTIAフラッグシップシリーズ＞

- ユニバーサルコミュニケーションデザインに配慮した資料作成に努めており、『取扱商品・サービス一覧』は毎年UCDA認証を取得しております。

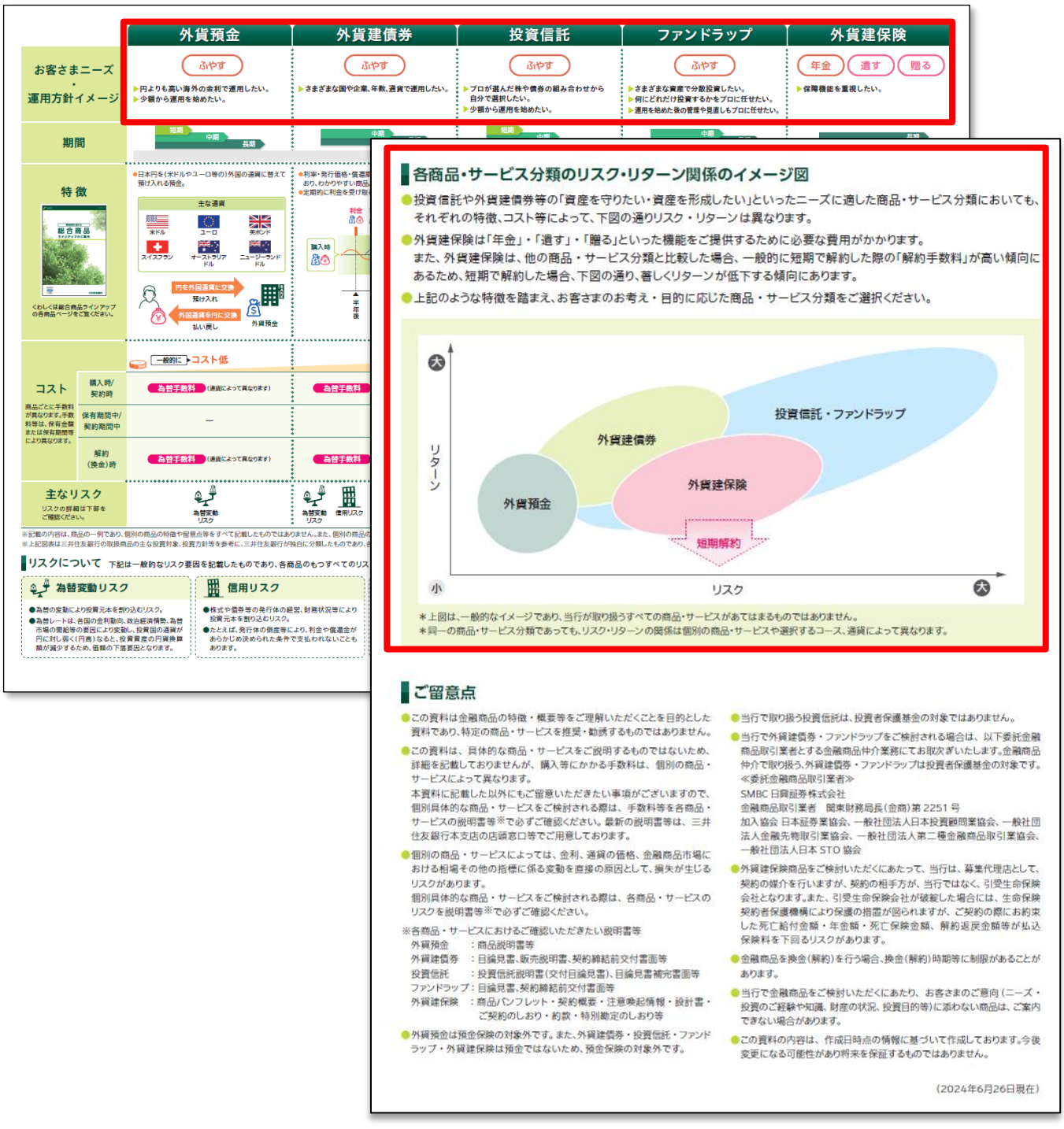
Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

三井住友フィナンシャルグループ
2025年6月時点

## ● 商品検討における比較説明の実施

銀行 信託

- 各商品の概要を一覧で比較してお示しすることで、お客さまご自身のお考えに沿った、納得感のあるご提案をできるよう努めております。
- 「資産を守りたい・資産を形成していきたい」といったニーズに適した投資信託や外貨建債券等の商品と、「年金・遺す・贈る」といったニーズに適した保険商品との相違点を、より分かりやすくお伝えできるよう、比較説明資料の充実を図っております。
- また、2024年度には、比較説明資料にリスク・リターンのイメージ図を追加し、各商品・サービス分類のリスク・リターンの関係性をご確認いただくことが可能となりました。また、外貨建保険を短期で解約した場合、リターンが減少する傾向にあることも可視化するなど、お客さまのニーズに適した商品をお選びいただけるよう資料をご用意しております。




Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.



三井住友フィナンシャルグループ

2025年6月時点

## お客さま向けセミナー

銀行　日興　信託

- 2024年度は、SMBCグループ会社主催の「人生100年時代FORUM」を昨年に続き対面で開催、さらに当日のセミナーをオンラインとして配信いたしました。
- 2024年度は、約3,200名の方にお申込みいただき、人生100年時代というテーマに改めて目を向け、考えていただくイベントとなりました。引き続き、お客さまのお役に立てる情報発信に努めてまいります。

＜人生100年時代FORUM＞

リアルイベント　：　2024年12月22日(日)　東京国際フォーラム
オンラインイベント：　2025年2月17日(月)～3月3日(月)

## 参考　人生100年時代・高齢社会への対応

| | |
|---|---|
| 銀行 | • 人生100年時代におけるお客さまの多種多様なニーズに対し、金融・非金融の垣根を超えた付加価値の高いご提案を実現するため、各種サービス(※)を取りそろえております。<br>(※)専任コンシェルジュによる有人対応をエッジとした「SMBCエルダープログラム」や、大切な情報を銀行がお預りし次世代にお届けする「SMBCデジタルセーフティボックス」、家族の未来を予測し、将来に備えるアプリ「ファミリーネットワークサービス」(銀行100%子会社の株式会社SMBCファミリーワークスが提供)　等 |
| 日興 | • 幅広いお客さまのご意向やご要望に応じて、様々なご案内・サービスを提供できる環境を整えております。<br>• 高齢のお客さまのご要望に応じたご提案のほか、不測の事態に備えるサービス・制度や、資産取り崩しニーズへ対応する投信の定期引出サービスなど、お客さまの状況変化に応じたサービスの拡充を図っております。 |
| 信託 | • 信託銀行としてのお客さまのニーズに沿ったプログラム(退職金運用プラン)を導入し、お客さまのセカンドライフをサポートしてまいります。<br>• お客さまの資産を面倒な手続不要で、そのままご家族に相続・贈与することを目的としたサービス(スマート相続口座、ファミリーバトン等)を導入しております。 |

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.


2025年6月時点

取組方針 3

# お客さま本位のアフターサービスの充実

お客さまに長期的に安心して運用商品をお持ちいただけるよう、きめ細かいアフターサービスに努めてまいります。

- お客さまの不安・不満の解消するために、必要に応じ、販売時の担当者による商品説明が分かりやすく、十分に行われていたかを確認しております。
- 投資信託や外貨預金等をお持ちのお客さまに対しては、お持ちいただいている商品の状況や関連するマーケット情報などを定期的に情報提供を行い、必要に応じ各営業店の担当者による面談・ご連絡を含めた、きめ細かいアフターサービスに努めております。
- 特に、政治イベントや地政学リスク等、市場動向が大きく変動した場合は、相場見通しや商品の運用状況をはじめ、お客さまの不安解消、投資判断に必要な情報をご提供できるように努めるなど、タイムリーかつ丁寧なアフターサービスを行っております。
- 有人対応だけでなく、LINEや電子メールといった様々なチャネルでも随時情報を提供するなど、アクセスチャネルの拡充により、利便性向上に努めております。

## 参考 アフターサービスの概要

| | |
|---|---|
| 銀行 | • いつでもご自身の携帯・パソコンで、資産状況のご確認ができる等、お客さまの利便性向上に努めております。<br>• より安心して資産運用のお取引がいただけるよう、お客さまのご希望に応じて、対面だけではなく、オンライン面談やインターネット・アプリ・電話・メール等のデジタル・リモートチャネルの充実を図っております。<br>• また、外貨建一時払保険を保有されているお客さまについては、ご契約内容の確認だけではなく、ご加入の経緯、ご家族状況や、解約時の損益状況の確認など、丁寧なお客さまフォローを定期的に行うことに努めております。 |
| 日興 | • 相場急落時等のお客さまへのフォローが必要な事態が発生した際には、営業担当者からの連絡やEメールの配信により、当社作成のレポートや動画等を使用した情報提供と丁寧なご説明を徹底しております。<br>• また、定期的なフォロー状況を本社から確認できる社内システムを活用し、効率的な支援態勢を構築しております。<br>• そのほか、「メール電子交付サービス」を活用した投資情報レポートの提供や「株価通知メール」「基準価額通知メール」等、お客さまのニーズに合わせたEメールサービスを多数、提供しております。 |
| 信託 | • オンラインやアプリ等でも口座状況のご確認とお取引をいただくことができ、またご希望に応じてタイムリーな情報をeメール配信やYouTubeでの動画配信などで提供することでお客さまの多様なニーズに対応しております。<br>• マーケットの急変時にはホームページへのレポートの掲載などによる情報提供とともに、営業担当者からの保有商品の状況や市況に応じたご案内とフォローに努めます。<br>• お客さまとのコンタクトを大切に、ご来店やお電話等に加え、ご希望によりWeb面談も活用したフォローアップ体制を整えております。 |

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

取組方針 3

# お客さま本位のアフターサービスの充実

## 参考 ファンドラップにおけるレビューの取組状況

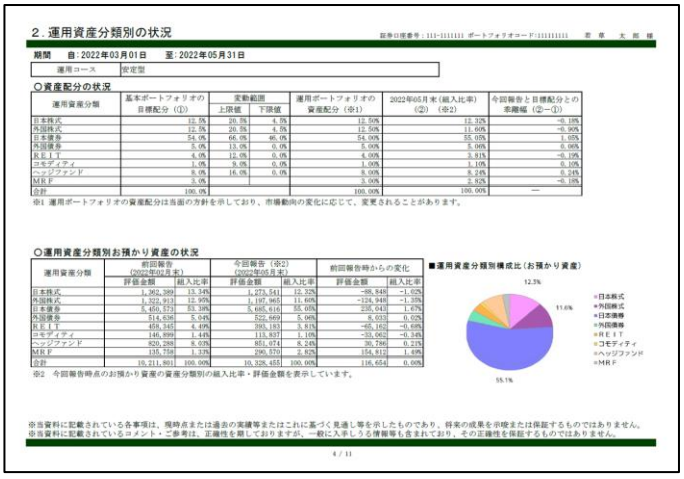
銀行 日興

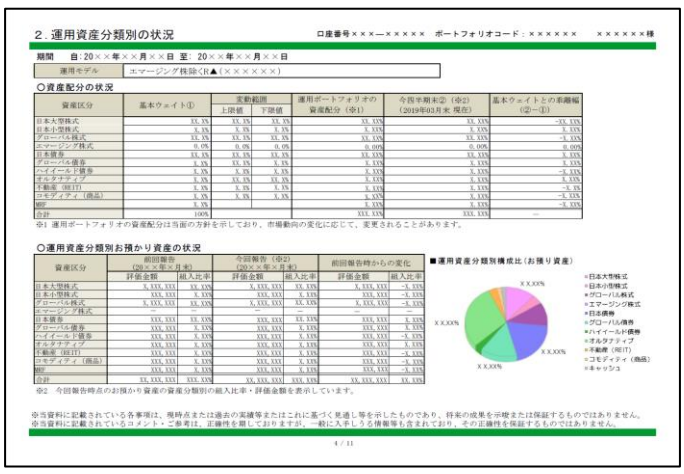
- SMBCグループでは、ファンドラップをご契約いただいているお客さまに対し、定期的にレビュー（運用状況のご報告、ご意向の確認、ご意向を踏まえた見直し提案等）を実施しております。
- レビューでは、ご契約いただいているポートフォリオの損益状況だけでなく、損益に対する組入ファンドの寄与度や、投資目標の達成状況等の情報提供を行っております。
- レビューを通じ確認したお客さまのご意向に基づき、最適な見直し提案を行っております。

<レビューにおける情報提供例>

| | | |
|---|---|---|
| ① | 運用状況のご報告 | ・ポートフォリオの損益状況、損益状況に対する組入ファンド別の寄与度<br>・お客さまが設定した投資目標の達成状況 |
| ② | お客さまのご意向の確認 | ・ライフステージやニーズの変化の確認<br>・サービス機能の設定、変更有無の確認 |
| ③ | 不明点の確認 | ・投資一任報酬についてのご説明　等 |

<ファンドラップ四半期運用報告書>






信託 • ファンドラップの取扱い無し。

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

三井住友フィナンシャルグループ
2025年6月時点

# 取組方針 4 お客さま本位の業績評価体系の整備

お客さま本位の営業活動を的確に行うことを促すため、業績評価体系を整備してまいります。

- お預りする資産の残高や中長期分散投資に繋がる運用商品の販売等に重点を置き、長期的な視野に立った上で、お客さまとのWIN－WINの関係を目指した社内の体制や業績評価体系を整備しております。

## 参考 業績評価体系のポイント

| | |
|---|---|
| 銀行 | • 「質の伴った成長」の実現に向け、「社会的価値創造」「経済的価値追求」に資する取組を評価しています。<br>• 一人ひとりのお客さまに寄り添い、従業員が高い質・モチベーションをもってお客さまに「最善の利益」を届けられるよう、以下の点に重点を置いた評価体系としています。<br>① 「Integrity」を大前提とし、「コンプライアンス」「お客さま本位」を軸とする評価（「Integrity for Customer」）<br>② お客さまに高い付加価値を提供し、豊かな生活・幸せな成長を実現した結果として「お預りする資産」の残高が増加することを重視する評価<br>③ グループ一体でお客さまに向き合うため、お預りする資産は「グループ各社の合算」で評価<br>• 「お客さま・従業員・株主・社会」のステークホルダーを意識した「自律的な拠点運営」を行う項目を評価し、お客さま本位の観点においては『お客さま本位の業務運営に関する取組方針リーフレット』『トータルコンサルティングシート』等の活用状況や、お客さまへのレビュー・フォローアップ状況、お客さまの声（NPS®評価）を評価に反映させております。<br>• なお、担当者が真にお客さまにとっての最善の利益を考えコンサルティングに取り組めるよう、当行の業績を達成するための運用収益や販売額の計数目標を担当者個人に割り振っておりません。 |
| 日興 | • 当社では部門・部店・個人の評価それぞれにおいて、「お客さま本位の業務運営」を追求し、それを前提とした業績向上という優先順位に基づく評価を行っております。<br>• 部門においては、コンプライアンス態勢やお客さま本位等の観点から適切な業務運営の実践を部門経営の大前提とし、持続的成長に必要な評価項目を設定し、その業務成果を評価しております。<br>• 部店においては、持続的成長への取組みとして、お預り資産の拡大状況やより中長期の資産運用提案に基づいた実績など、高度なコンサルティングの徹底によりお客さまの高い納得感が得られるお取引について適切な評価が可能な仕組みとしております。また、単年度手数料等の実績に偏らない評価体系を構築しております。<br>• 個人においては、職業倫理やコンプライアンスに関する行動を評価する職業倫理・コンプライアンス評価、並びに、お客さま本位の取組みやお客さま重視の評価項目を含めた業績評価及びコンピテンシー評価に基づき、総合的な評価を実施しております。 |
| 信託 | • 信託銀行として、社会的価値創造を意識した真にお客さまのためのコンサルティングに取り組めるよう、お客さまのニーズをお聞きすることから、信託商品を含めたグループ一体での幅広いご提案を推進することまでを評価体系としております。<br>• 部店・個人の評価は「お客さま本位の業務運営」を軸とした定性評価と「持続的成長」、「財務的成果」の2つを軸とした定量評価でお預り資産残高やコンサルティングの取組をバランスよく評価しております。<br>• 「お客さま本位の業務運営」の軸では、お客さま本位の取組、コンプライアンス全般、拠店運営の項目により、お客さまの最善の利益の追求とガバナンス態勢の両立を評価しております。<br>• 「持続的成長」の軸では、中長期の資産形成を目指し販売額などではなく、残高を軸に評価しております。また、お客さまへグループ一体での総資産アプローチの提供を目指すため、お客さまの資産をグループ各社の合算でも評価しております。<br>• 「財務的成果」の軸では、お客さまのニーズヒアリングの取組と外貨決済・運用、信託、不動産を通じたお客さまの資産価値向上の取組を合わせて評価することで、真のお客さまのためのコンサルティングの取組を評価する体系としております。 |

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

取組方針 5

# コンサルティング力向上に向けた取組み

お客さまの幅広いニーズに最適なご提案ができるよう、コンサルティング力の継続的な向上を図ってまいります。

- オンラインでの自己啓発環境を整備・拡充するとともに、ロールプレイング等の研修を行うことで、知識習得と実践の両面から、お客さまへのサービス提供に必要なスキルの向上を図っております。
- Web・アプリのUI/UXの向上や、LINE・ビデオチャット等の活用を通し、お客さまの利便性向上と、お客さまのご意向に沿ったお取引チャネルをご用意しております。
- お客さまの声や評価に真摯に向き合い、お客さま目線でサービス・満足度の向上に努めております。

## 19 ファイナンシャル・プランナー（FP）資格保有比率

- お客さまの幅広いニーズに対する提案力を向上するため、必要な知識を習得し、実践で活用出来るよう、FP2級以上（含むCFP・AFP）の資格取得を推進。

銀行 日興 信託

FP2級以上（含むCFP・AFP）の資格保有比率
＜銀行+日興+信託＞　2025年3月末時点

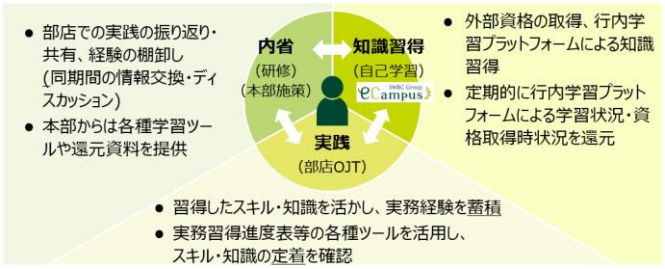
| 管理職 | 前年比 | 外訪担当者 | 前年比 |
|---|---|---|---|
| 99% | ±0pt | 91% | +0pt |

## 参考 研修体制の整備

### 銀行

- 担当者がお客さまのニーズに対し、付加価値の高いサービスを提供するため、知識・スキルの習得に向けた成長サイクルを営業店・本部が一体となって支援しております。

＜成長サイクル＞




### 日興

- 「銀行×証券」の知識・スキルを習得して、国内No.1のウェルスマネジメントビジネスをリードするコンサルタントとなるべく成長サイクルをグループ会社も含め拡大するなど、質の向上を図ってまいります。

### 日興

- お客さまへの高度なコンサルティングの提供に向けて、部門内に人財育成に特化した部署を新設し、人財育成体系の高度化を実施しております。
- 人財育成体系の高度化の一環として、新入社員の支店配属前研修の長期化や、全営業員を対象とした対面での部門別研修などを実施しております。

### 信託

- 担当者ごとの「スキルチェックシート」によるスキルレベルの「見える化」を、より精緻なものとして高度化しております。
- 担当者の強み/弱みに合わせて①拠点管理職からの指名②担当者自らのエントリーにより選択できる自律参加型研修を整備し、担当者のコンサルティング力向上に取り組んでおります。

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

三井住友フィナンシャルグループ
2025年6月時点

取組方針 5

# コンサルティング力向上に向けた取組み

## 参考 サービス・満足度向上に向けた取組み

- グループ各社でNPS®調査を実施し、NPS®調査スコアやいただいたコメントについて、分析し適切な商品・サービス提供、フォローアップができるように各種施策等に反映させるとともに、業績評価にも活用しております。

＜NPS®調査とは＞

- 「他者への推奨意向」を測ることで、お客さまのロイヤルティを測定する指標。
- 「家族や友人に薦める可能性はどのくらいありますか？」という質問に対して0～10点の11段階で回答したデータを推奨者（9～10点）、中立者（7～8点）、批判者（0～6点）の3グループに分類。推奨者の割合から批判者の割合を差し引いた数値がNPS®。

※ NPS®は、ベイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、サトメトリックス・システムズの登録商標です

## 参考 お客さま満足度の公表

※ 同じ項目においても各社で異なる調査方法を用いており、数値には差異があります。

### 銀行

- 金融商品等をお持ちのお客さま（①）や、購入・ご契約いただいたお客さま（②）に対し、定期的にデジタルや書面でのアンケートのご協力をお願いしています。
お客さまからいただいた声を、商品・サービスの向上、開発に役立てています。

＜NPS調査結果（NPSスコア）の推移＞

| | 22年上期 | 22年下期 | 23年上期 | 23年下期 | 24年上期 | 24年下期 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | -17 | -11.2 | -12.2 | -4.5 | -4.2 | -1.9 |
| ② | 7.7 | 10.6 | 16.7 | 17.5 | 11.4 | 11.9 |

### 日興

- お客さまにご満足いただけるサービスの提供につなげることを目的として、定期的にアンケートを実施しております。お客さまアンケートの結果を分析し、お客さまへの適切な商品・サービス提供、フォローアップができるよう当社の施策等に役立てています。

＜CX指標の推移＞

| 22年2月 | 22年8月 | 23年3月 | 23年8月 | 24年2月 | 24年8月 |
|---|---|---|---|---|---|
| 6.5 | 6.3 | 6.5 | 6.7 | 7.0 | 6.9 |

※担当者付のお客さまからの評価
※CX指標0～10の11段階

### 信託

- お客さまの声を聞く機会を設け、商品・サービスの品質向上・開発やコンサルティング力向上に役立てています。

〈各種NPS調査結果（NPSスコア）の推移〉

| | 22年上期 | 22年下期 | 23年上期 | 23年下期 | 24年上期 | 24年下期 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 金融商品を購入いただいたお客さま | 51.4 | 51.5 | 47.1 | 55.7 | 56.9 | 68.2 |
| 各種お手続き・ご相談をされたお客さま | -22.2 | -20.0 | -22.4 | -19.3 | -13.9 | -13.0 |

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.


2025年6月時点

## お客さま本位の浸透に向けた取組み

### 銀行

- NPS®調査結果は各営業店に還元しており、各担当者がその内容を確認しております。担当者が「無理に解約を止める」等の行為がなかったかの項目を追加する等、お客さまの忌憚のないご意見を踏まえ、お客さま本位のご提案ができるよう努めております。
- 米国COPC社「COPC®CX規格」認証取得（2014-2020年）。
- HDI-Japan（※）が提供するサポートサービスの格付け調査において、「問合せ窓口」「Webサポート」が、9年連続で国内最高評価となる三つ星を取得しております。
- 「2019年度グッドデザイン賞」を受賞した三井住友銀行アプリに続き、「三井住友銀行アプリ」に加え、「ホームページ」、「SMBCダイレクト（インターネットバンキング）」、「SMBC タブレット（対面サービスの際に利用する端末）」、そしてそれらが1つに繋がって提供する顧客体験「いつだってすぐそばに、SMBC」が「2021年度グッドデザイン賞」を受賞しました。

【いつだってすぐそばに、SMBC】

### 日興

- 各営業店にアンケート結果を還元し、各担当者がお客さまからの期待と評価を確認し改善に活かしているほか、不芳回答には必要に応じ、管理職より早期対応を実践しております。また、調査結果から得られたCX向上への課題を経営・現場にフィードバックしております。
- 加えて、お客さまアンケートの結果は営業店の評価として取り入れており、コンサルティング力向上と共に、お客さま本位の取組みへの適切な動機付けの枠組みも構築しております。
- 米国COPC社「COPC®CX規格」認証取得（2008-2021年）。
- HDI-Japan（※）が提供するサポートサービスの格付け調査において、「問合せ窓口」が19年連続（国内唯一）、「Webサポート」が14年連続で、最高評価となる三つ星を取得しております。

【問合せ窓口（コンタクトセンター）】

【Webサポート（ホームページ）】

### 信託

- NPS®調査結果は、各営業店に還元し、担当者に関するお客さまの評価を客観的に見つめ直す機会として活用するとともに、本社各部でお客さまのニーズを知る機会として活用しております。
- HDI-Japanが主催する「HDI格付けベンチマーク」の『Webサポート』『問合せ窓口（電話）』格付けにおいて、最高評価となる三ツ星を取得しております。
- 2021年3月には『COPC® CX規格CSP6.2版』を取得するなど、高い外部評価を得ています。

【問合せ窓口（コンタクトセンター）】

【Webサポート（ホームページ）】

（※） HDI（ヘルプデスク協会）はサポートサービス業界における世界最大の認定機関であり、世界で50,000を超える会員を有する。

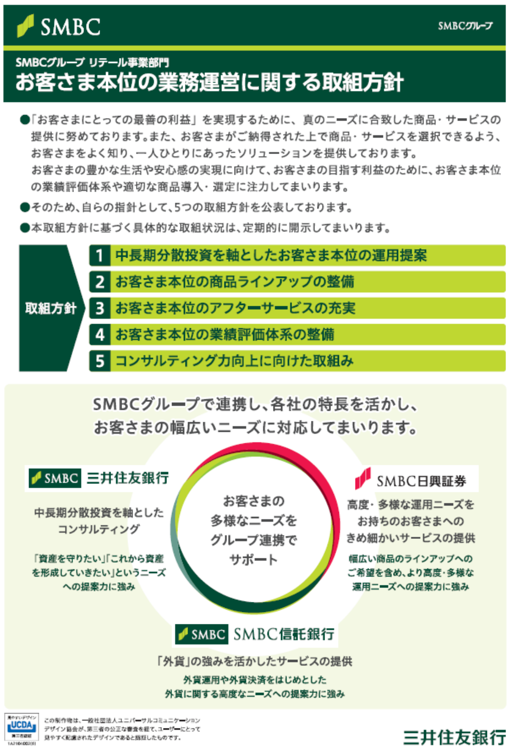
Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.


2025年6月時点

## お客さま本位の浸透に向けた取組み

| | |
|---|---|
| 銀行 | • お客さまが、安心してご相談をいただけるよう、資産運用業務に関する基本姿勢について、リーフレットを活用したご説明に努めております。<br>• 「お客さま本位」の考え方や行動について、従業員が自ら考え理解を深めるため、1年に2回、「お客さま本位Day」と称し、各営業拠点でディスカッションを実施しております。<br>• 加えて、外部講師による「お客さま本位」に関する支店長向けディスカッション研修や担当者向けのTV勉強会を実施しております。 |

＜「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」リーフレット＞



SMBC　SMBCグループ

SMBCグループ リテール事業部門
お客さま本位の業務運営に関する取組方針

●「お客さまにとっての最善の利益」を実現するために、真のニーズに合致した商品・サービスの提供に努めております。また、お客さまがご納得された上で商品・サービスを選択できるよう、お客さまをよく知り、一人ひとりにあったソリューションを提供しております。
お客さまの豊かな生活や安心感の実現に向けて、お客さまの目指す利益のために、お客さま本位の業績評価体系や適切な商品導入・選定に注力してまいります。
●そのため、自らの指針として、5つの取組方針を公表しております。
●本取組方針に基づく具体的な取組状況は、定期的に開示してまいります。

取組方針
1 中長期分散投資を軸としたお客さま本位の運用提案
2 お客さま本位の商品ラインアップの整備
3 お客さま本位のアフターサービスの充実
4 お客さま本位の業績評価体系の整備
5 コンサルティング力向上に向けた取組み



この制作物は、一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会が、第三者の公正な審査を経て、ユーザーにとって見やすく配慮されたデザインであると認証したものです。

三井住友銀行

SMBC　SMBCグループ

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る
重要情報シート

1 当行の基本情報

| | | | |
|---|---|---|---|
| 社名 | 三井住友銀行 | 当行の概要を記したウェブサイト | https://www.smbc.co.jp/ |
| 登録番号 | 関東財務局長（登金）第54号 | | |
| 加入協会 | 日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会／一般社団法人第二種金融商品取引業協会 | | |

2 取扱商品　当行がお客さまに提供できる金融商品の種類は次のとおりです

| | 当行取扱 | 使い道の決まっているお金 | 当面使う予定のないお金 | 使い道の決まっていないお金 |
|---|---|---|---|---|
| 預金（投資性なし） | ○ | ● | | |
| 預金（投資性あり） | ○ | | ● | ● |
| 投資信託 | ○ | | ● | ● |
| ラップ口座 | ○※1 | | ● | ● |
| 円建債券 | ○※1 | | ● | ● |
| 外貨建債券 | ○※1 | | ● | ● |
| 保険（投資性なし） | ○ | | ● | ● |
| 保険（投資性あり） | ○ | | ● | ● |
| 国内株式 | ○※2 | | ● | ● |
| 外国株式 | × | | | |
| REIT | ○※2 | | ● | ● |
| その他の上場商品（上場CB等） | ○※2 | | ● | ● |
| 上記以外の商品等 | 個人向け国債・NISA（成長投資枠・つみたて投資枠）・iDeCo等もご用意しています。 | | | |

※1 SMBC日興証券（仲介口座）での取扱
※2 SMBC日興証券（仲介口座）による、SMBC日興証券のインターネット・専用電話取引での取扱

3 商品ラインアップの考え方　商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです
●「ためる」「ふやす」「そなえる」「おくる」等、一人ひとりの目的やライフステージに適した商品を幅広くご用意しています。
●SMBCグループで連携し、各社の特徴を活かした商品を「金融商品仲介」等を通じて幅広く取り扱っています。
●商品の提案にあたっては、お客さまのニーズや投資に対するお考えの他、将来のライフプランをお伺いしながらコンサルティングを通じて、適切な商品・サービスの提供に努めています。

4 苦情・相談窓口

| | | |
|---|---|---|
| 当行お客さま相談窓口 | ご意見・苦情専用窓口 | 0120-20-3111 【受付時間】平日：9時～17時（祝日および12月31日～1月3日は除く） |
| | 商品・サービスに関するお問い合わせ先 | 0570-043-195 【受付時間】平日：9時～17時（祝日および12月31日～1月3日は除く） |
| 加入協会等共通の相談窓口 | 全国銀行協会 相談室 | 0570-017109 (03-5252-3772) 【受付時間】平日：9時～17時 |
| | 証券・金融商品あっせん相談センター（FINMAC） | 0120-64-5005 【受付時間】平日：9時～17時 |
| | 生命保険協会 生命保険相談所 | 03-3286-2648 【受付時間】平日：9時～17時 |
| 金融庁金融サービス利用者相談室 | | 0570-016811 (03-5251-6811) |

一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会より「見やすさ」「わかりやすさ」「伝わりやすさ」の評価・認証を受けています。また同協会主催の「UCDAアワード」において、当行は6年連続の最優秀賞を受賞しております。

●本資料は、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨、勧誘する目的のものではありません。
●2025年6月30日公表「SMBCグループ リテール事業部門における『お客さま本位の業務運営に関する取組方針』」の簡易版です。

三井住友銀行

| | |
|---|---|
| 日興 | • お客さま本位の精神は、経営理念の中に創業時より受け継がれており、その実践に日々取り組んでおります。<br>• 創業記念日である7月7日を「経営理念の日」とし、全役職員が経営理念を軸に自ら取るべき行動を考え実践する企業文化を定着させることを目的に、各拠点でディスカッションを実施しております。<br>• また、目指す姿の実現のために何をすべきかを具体的に示した「行動規範」をもとに、大切な価値観をあらゆる場面で体現できるよう役職員全員がしっかりと理解し、日々の行動につなげるべく努めております。 |
| 信託 | • 「お客さまにより一層価値ある当行独自のサービスを提供し、お客さまと共に発展する」ことを経営理念の一つに掲げ、カスタマーエクスペリエンス（CX）の向上に取組んでいます。<br>• 積極的にお客さまの声を収集し、多角的な分析を行い、その結果を商品・サービスの向上、開発に役立てています。<br>※ カスタマーエクスペリエンス（CX）とは顧客経験価値の意を持ちます。顧客経験価値とは、商品・サービスの機能や性能における物質的な価値ではなく、心理的又は感情的な経験を価値として捉えることです。 |

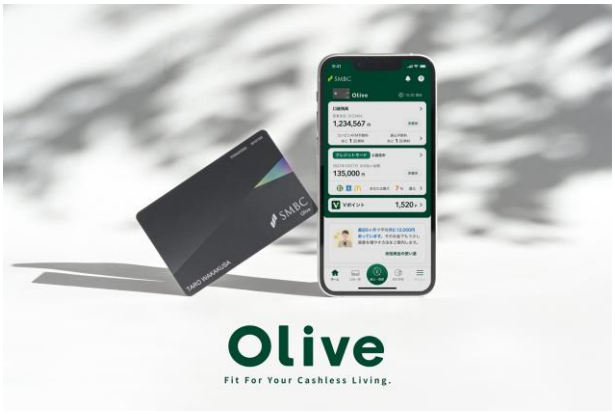

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.
2025年6月時点

## デジタル・リモート取引の推進

### 銀行

＜総合金融サービス「Olive」リリース＞

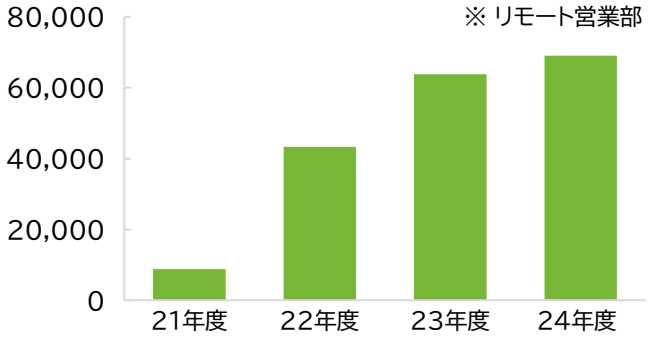
- Oliveは、誰もが金融サービスにアクセスでき、誰もがその恩恵を受けられる社会をめざしています。
- 金融サービスのデジタル化や多様化に伴う「把握や使い分けが難しい」等の課題に対し、口座・決済・証券・保険を1つに集約し、デジタルとリアルの両面からお金とのかかわり方をサポートする環境を構築しています。
- 三井住友銀行と三井住友カードが、2023 年 3 月より提供している個人のお客さま向け総合金融サービス「Olive（オリーブ）」が、「2023年度グッドデザイン賞」を受賞しました。




＜リモート取引の推進＞

- 専門のコンサルタントが、電話やオンラインにて様々なご相談を承っており、オンライン面談を利用されるお客さまも着実に増加。
- 多くのお客さまからご好評いただいております。

リモート拠点(※)におけるオンライン面談件数




お客さまの声

- 近くに支店がなく誰にも相談できずにいたが、自宅に居ながら、安心して相談できた。
- 平日は仕事で支店に行けないので、土日にじっくり相談できて有難かった。
- パソコンの画面に資料を映しながら説明して貰えたので、非常に分かりやすかった。

### 日興

- 当社アプリでは、株価や為替等の最新の情報をお届けし、お取引をスムーズに実施していただけるような環境整備に努めております。
- お客さまからの当社商品・サービスや事務手続きに関するお問い合わせについては、お電話だけではなく当社ホームページ上でのチャットによるサポートサービスもご用意しております。
- 当社オンライントレード（日興イージートレード）で実施していただけるお手続きを拡充し、お手続き時間の短縮含め利便性向上に努めております。
- 資産運用に関するご提案やフォローアップ時に、お客さまのご意向に応じてWebでのコミュニケーションツールを活用する等柔軟に対応させていただいております。

### 信託

- SMBC信託銀行ではお客さまの利便性の向上のため、「デジタル」、「リモート」どちらでもスムーズにお取引いただけるよう、強化を図ってまいります。

① デジタルの強化：インターネットバンキング上で、電子帳票での入力による対応サービスを拡充し、来店いただかなくても各種お手続きが可能となっております。また、スマホアプリでは、残高照会、取引確認に加えて、外貨取引、投資信託のお取引も可能です。

② リモート取引の強化：電話だけでなく、オンライン面談を活用した資産運用コンサルティングおよびアフターフォローを提供しております。

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.


2025年6月時点

## サステナビリティ投資商品の充実に向けた取組

銀行

- お客さまの持続的な資産成長をお手伝いするとともに、ESGを投資対象選定の主な要素とする投資信託をご提案しております。
- お客さまと社会の成長を両立させる取り組みを行うためのご質問をSMBCマネープランにご用意しております。

＜投資信託＞

**ESG投資 ― 投資を通じてSDGsの達成を支援 ―**

**世界インパクト投資ファンド（資産成長型）《Better World》** 海外株式（グローバル）

[設定・運用]
三井住友DSアセットマネジメント株式会社

**社会的な課題の解決にあたる企業に着目して投資します。**

社会的な課題の解決（社会的インパクト）に取り組む企業に着目し、ファンダメンタル分析等を行い、投資魅力のある革新的な技術やビジネスモデルを有する企業に実質的に投資を行うことで、信託財産の成長を目指します。

**SMBC・アムンディ クライメート・アクション** 海外株式（グローバル）

[設定・運用]
アムンディ・ジャパン株式会社

**世界が動き始めた。気候変動を巡る資産形成の新たな潮流。**

持続的な成長のために気候変動アクションをおこす企業にグローバルな資金が動き始めています。このような企業の株式への投資を通じて、気候変動問題に貢献するとともに中長期的な資産成長を目指します。

＜SMBCマネープラン＞

＜ソーシャル預金＞

Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

三井住友フィナンシャルグループ
2025年6月時点

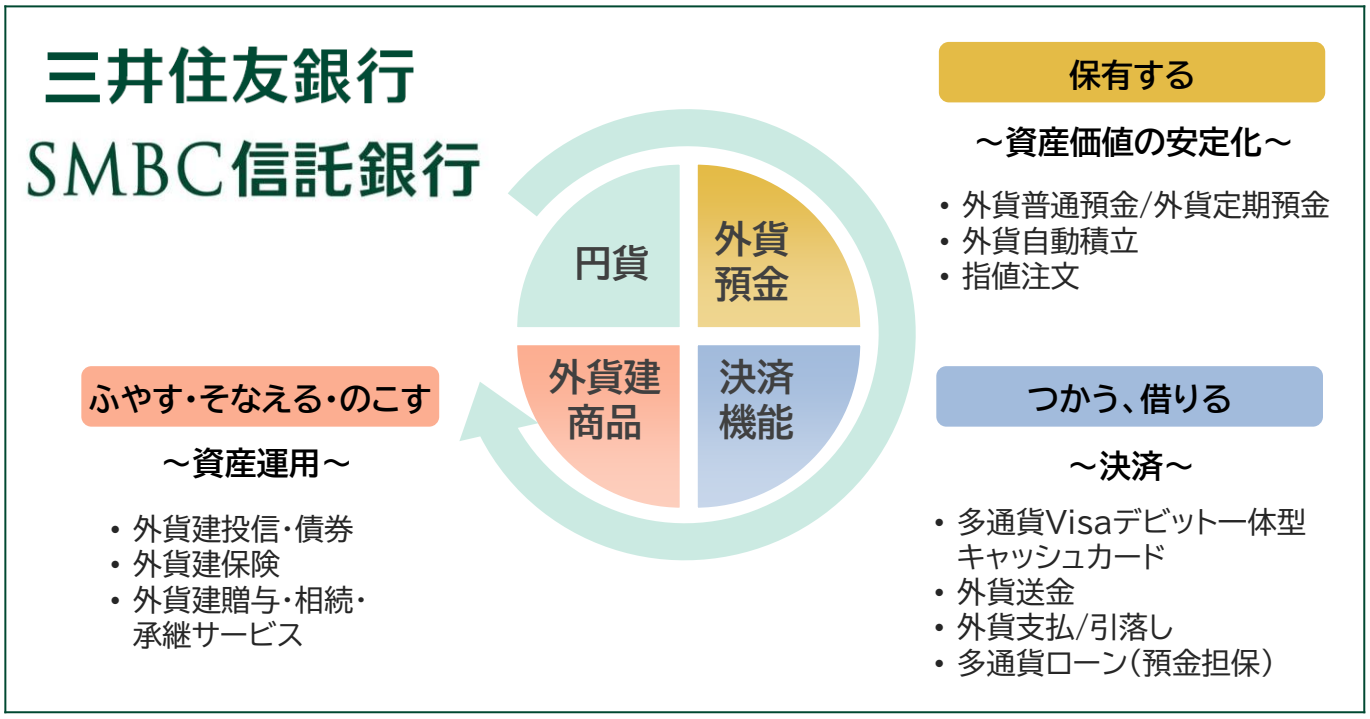
## ● 幅広いサービス・ソリューション提供の充実

銀行 日興 信託

- お客さまの多様なニーズに対し、金融領域に留まらない幅広いサービス・ソリューションの提供を追求し、富裕層の皆さまに新サービスブランド「SMBC Private Wealth」のもと、より一層価値のあるサービスを提供してまいります。
- 運用のみならず、ビジネス、社会貢献、相続、事業承継、教育、エンターテインメント等、グループの総力を挙げてお客さまに適したソリューションの提供を目指しております。

銀行 信託

- 外貨を「資産運用・資産価値の安定化・決済などの多様なニーズにお応えする資産」と位置づけ、外貨に関する多様なニーズに、グループ一体でお応えしてまいります。




Copyright © 2025 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.


2025年6月時点